

令和元年度

事業結果報告書

社会福祉法人松江市社会福祉協議会

I	はじめに	1
II	実施事業	
1.	社協運営及び機能強化	3
1-(1)	法人運営管理	3
	① 理事会	
	② 評議員会	
	③ 監査会	
	④ 正副会長会	
	⑤ 重点事業推進会議	
	⑥ 中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会	
	⑦ 八市社協会	
1-(2)	広報	7
	① 社協だより・刊行物等の発行	
	② ホームページ	
1-(3)	社協会費、募金等	8
	① 社協会費	
	② 日赤社費	
	③ 共同募金	
1-(4)	研修啓発、講座	10
	① 松江市社会福祉大会	
	② 健康福祉フェスティバル	
	③ 第71回松江市民余芸大会	
	④ 地域ケア連携推進フォーラム	
1-(5)	篤志寄付金配分事業の推進	12
1-(6)	共同募金配分事業の取り組み	13
2.	地域福祉及び連絡調整の強化	14
2-(1)	第5次地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定	14
2-(2)	地域福祉の推進	15
	① コミュニティソーシャルワーク（CSW）の展開	
	② 地区社協・各種団体との連携	
	③ 地区社会福祉協議会活動支援事業（すこやかライフ推進事業）	
	④ 地区社協会長会、幹事会及び事務局連絡会議	
	⑤ 福祉推進員代表者会	
	⑥ 福祉推進員研修会	
	⑦ あったかスクラム事業の支援	
	⑧ 生活再建おうちクリーニング事業	
2-(3)	広域福祉事業の推進	22
	① 福祉サービス利用援助事業の推進	
	② 法人成年後見事業	
	③ 市民後見人等養成事業	
	④ 市民後見人養成講座フォローアップ・生活支援員の研修	

3. ボランティア活動及び福祉教育	28
3-(1) コーディネート機能強化	28
3-(2) ボランティアの育成、養成	28
① 育成研修	
② 養成研修	
3-(3) ボランティアの活動支援	30
① ボランティアルームの開放、備品の貸し出し及び保険加入の促進	
② ボラカフェの開催	
③ 松江市ボランティア連絡協議会との連携、活動支援	
④ 企業ボランティア松江ネットワーク会議との連携活動支援	
⑤ 松江市社会福祉法人連絡会との連携・活動支援	
3-(4) 福祉教育の推進	32
3-(5) ボランティア活動の広報・啓発・広聴活動の強化	33
3-(6) 松江市まめなかポイント事業実施	33
4. 在宅生活支援事業の推進	34
4-(1) 地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み	34
① 地域包括支援センター事業の推進	
② 在宅医療・介護連携支援センター事業の推進	
③ 生活支援コーディネーター設置事業	
④ 認知症地域支援推進事業	
4-(2) 総合相談	43
4-(3) 社協内相談事業連絡会議	43
4-(4) 各種貸付相談	43
① 生活福祉資金の貸付	
② 民生融金の貸付	
4-(5) 福祉サービス	45
① 福祉サービスの実施	
5. 公的福祉サービス受託事業の推進	47
5-(1) なごやか寄り合い事業	47
5-(2) まつえ障がい者サポートステーション絆の運営	48
5-(3) 生活困窮者自立支援事業（松江市暮らし相談支援センター）	49
① 自立相談支援事業	
② 一時生活支援事業	
③ 住居確保給付金	
④ 家計改善支援事業	
⑤ 就労準備支援事業	
⑥ 入居債務保証制度	
⑦ フードバンク事業	
⑧ 助っ人弁護士制度	
5-(4) 高齢者あんしんサポート事業	51

6. 介護保険関係事業の推進	53
6-(1) 松江社協介護センターの経営	53
① 居宅介護支援事業	
② 訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業	
6-(2) 美保関介護センターの経営	54
① 居宅介護支援事業	
② 訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業	
③ 通所介護事業及び介護予防通所介護事業	
6-(3) 松南介護センターの経営	56
① 居宅介護支援事業	
② 訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業	
6-(4) 宍道介護センターの経営	57
① 居宅介護支援事業	
② 訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業	
6-(5) 介護センターの研修等の推進	58
① 介護支援専門員資質向上事業	
② 訪問介護員内部研修	
③ 居宅介護支援専門員内部研修	
④ その他介護職員関係研修への参加	
6-(6) 介護認定訪問調査事業の受託	60
7. 障害者総合支援法等障がい者関連事業の推進	61
7-(1) 障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業	61
① 松江社協障がい者居宅介護事業及び同行援護事業	
② 美保関障がい者居宅介護事業及び同行援護事業	
③ 松南障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業	
④ 宍道障がい者居宅介護事業	
8. 児童福祉サービスの推進	64
8-(1) 児童センター等の受託運営	64
① 八雲児童センター運営事業	
② 八雲児童・子育て事業	
8-(2) 子ども食堂の取り組み	65
8-(3) みんなのいこい食堂	65
9. 福祉施設等管理運営事業の受託	66
9-(1) 松江市総合福祉センター管理運営事業	66
9-(2) 宍道屋内ゲートボール場管理運営事業	66
9-(3) 美保関高齢者生活福祉センター（香梅の里）管理運営事業	66
9-(4) 西ふれあいプラザ管理運営事業	67
10. 「地域共生社会の実現に向けた」地域づくり推進	68
10-(1) 地域力強化推進事業	68
① 高台団地ローラー作戦	

② 参加型買物支援と介護予防の取り組み	
③ 巡回相談の実施	
④ みんなで考えよう地域共生フォーラム	
10-(2) 多機関の協働による包括的支援体制構築事業	70
① 松江市社会福祉協議会職員全てが相談を受けとめる体制づくり	
② 受け付けた相談を受けとめ、解決に向けた体制づくり	
③ 関係機関との連携	
④ 周知啓発	
10-(3) 松江市小規模法人のネットワーク化による共同推進事業	72
① 共生社会講演会・障がい者サービス事業所実践報告会	
② 事業所ガイドブック等の作成	
組織・機構	
※職員数一覧表	74

はじめに

家庭や地域での人間関係が希薄化する中で、地域では社会的孤立がすすみ、高齢者の孤立、孤独死、生活困窮、児童虐待など様々な問題が発生しています。さらに年度末からの全国的な新型コロナの感染拡大は、人と人とのつながりの分断を生み、市民はこれまでの「日常」という生活ができない状況にさらされています。私たちは全職員一丸となってこの支援に全力で立ち向かうことが求められています。

今年度、推進してきた「地域共生社会」の実現に向けた取組みを実践することが、このような局面だからこそしっかりと推し進めていくことが必要であると確信しています。この「地域共生社会」の実現は、本会のこれまでの方向性と合致するものであり、本来の使命と理念に立ち返り、「我が事・丸ごと」地域づくりや地域包括支援体制の実現に向けて取組みました。

令和元年度は、以下の重点目標を掲げ事業を推進しました。

1. 「我が事・丸ごと」の地域づくりの推進（地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業）

各地域包括支援センターにグループリーダーとコミュニティソーシャルワーカーを配置し、より住民に身近な拠点でのニーズ把握や地域づくりに取組みました。高齢者施設や高等学校等の既存の施設の空きスペース等を活用した交流事業は、新たな居場所づくりの可能性を模索するものでした。また、美保関介護センターのデイサービスの送迎用自動車を運行していない時間帯に活用し、買い物支援事業を実践しました。移動支援や買い物支援等、市民にとって生活に密着した高いニーズに向きあい実践していくことが求められています。

平成29年から開設した「ふくしなんでも相談所」も3年目を迎えました。生活困窮、病气、障がい、孤立等相談ニーズも多様化し、複雑な課題、いわゆる支援困難事例も散見されました。そのことは職員ひとり一人の対応能力が試されることにもなり、定期的にスキルアップ研修を開催することで職員の相談支援能力の向上に努めました。研修会には実際に支援を受けた当事者の方にも研修会のゲストスピーカーとして参画していただき、当事者の生きづらさに寄り添った支援の実践に努めました。

2. コミュニティソーシャルワークの推進

コミュニティソーシャルワークとは、地域において生活上の課題を抱える個人や家族に対する“個別支援”と、それらの人々が暮らす生活環境の整備や住民の組織化等の“地域支援”をチームアプローチによって展開・実践することです。

各日常生活圏域を担当のコミュニティソーシャルワーカーは、ふくしなんでも相談等で把握した事例に対して相談支援し、必要に応じて関係機関と連携しながら新たな支えあいの仕組みづくりに取組みました。今年度は、特に、居場所

づくりや買い物支援等について関係機関や住民の皆さんとともに企画の段階から参画いただき実施につなげることができました。

3. 第5次地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定

地域福祉を総合的に推進するため、松江市と一体的に第5次地域福祉計画・地域福祉活動計画を策定しました。第4次計画の4つの基本目標から「包括的な支援体制をつくる」を新たな5つ目の基本目標として設定し、全ての世代、全ての人を対象とした相談体制として「ふくしなんでも相談所」の充実や地域包括支援センターを高齢者以外の相談にも対応していく機能を位置づけました。

地域のつながりを強化し、誰も排除されないまちづくりをめざし、実行力のある計画にしていくことが求められています。

4. 地域包括ケアシステム実現に向けた事業の推進

『在宅医療・介護連携支援センター』を拠点に、在宅医療と介護を一体的に提供できるよう、松江市・保健所・医師会・介護支援専門員協会・訪問看護ステーション・地域包括支援センター等と医療と介護関係者の情報共有や地域住民を対象に講座や寸劇をとおして、アドバンス・ケア・プランニング(終末期を含め、医療や介護について話し合うことや意思決定ができなくなった時に備えて、本人に代わって意思決定する人を決めておくプロセス等)の必要性についての理解を深めました。

各地域包括支援センターでは、GPSを活用した認知症高齢者の見守り支援を実践し、見守りネットワークのあり方を検証しました。また、介護支援専門員・サービス提供事業所などを対象に「地域ケア会議」「松江市事例検討会」「公開講座」を開催し、高齢者の介護予防・自立支援の視点に立ったサービス提供や介護予防ケアマネジメント力の向上に取り組みました。

5. 権利擁護支援体制の推進

身寄りのない高齢者の様々なニーズに対応するため「高齢者あんしんサポート事業」を立ち上げ、日常的な見守り、入院時の保証、死後の支援等のサポート体制の充実を図りました。

また、家庭裁判所から市民後見人の第1号が選任されました。市民後見人のバックアップ体制を強化し、市民後見人が安心かつ継続性をもった支援できるようサポートしました。

6. 社会的孤立予防プロジェクト～おせっかいのススメ～

核家族化や少子高齢化、単身世帯の増加、そして、地域の間人関係への無関心やわずらわしさからの解放は、地域のつながりをなくし、社会的孤立をより一層深刻なものにしています。地域での福祉活動を最前線で支えていただいている民生児童委員、福祉推進員等を対象に「おせっかいのススメ」や「冰山モデル」を活用した研修会を開催し、人が孤立する背景やその支援のあり方について学ぶ機会としました。

II 実施事業

1. 社協運営及び機能強化

1-(1) 法人運営管理

【総務課】

社会福祉法人制度改革に沿った役員、評議員体制を構築し、法人の健全経営や、地域福祉の担い手としてふさわしい事業を確実に、かつ効果的に行うために、理事会、評議員会を開催し、社協法人の意思決定を行いました。

①理事会

事業名等	内容	質疑・意見等
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 令和元年5月30日(木) 9:30～ 場所 松江市総合福祉センター4階 教養室 出席者 総数20名中17名 監事2名 ・松江社協介護センター各種運営規程の一部改正について ・美保関介護センター各種運営規程の一部改正について ・松南介護センター各種運営規程の一部改正について ・宍道介護センター各種運営規程の一部改正について ・平成30年度事業結果報告 ・平成30年度会計収支決算 ・評議員の推薦について ・役員の推薦について ・第1回評議員会の開催 <p>以上原案どおり可決</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・包括支援センターとコミュニティソーシャルワーカーとの連携について ・身寄りがない人への支援の分析について ・福祉なんでも相談の第1次相談から第3次相談までの内容の分析について ・地域の中での課題について ・第2層協議体の状況について ・市民後見人として登録している人の今後の見通しについて ・貸付事業の収支について
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 令和元年6月18日(火) 16:00～ 場所 松江市総合福祉センター4階 教養室 出席者 総数20名中15名 監事1名 ・会長及び副会長の選任について ・専務理事及び常務理事の選任について ・各種就業規程の一部改正について ・みんなのいこい食堂について 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなのいこい食堂の周知方法について

事業名等	内容	質疑・意見等
第2回（続き）	以上原案どおり可決	
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 令和元年12月18日（水）10:00～ 場所 松江市総合福祉センター4階 教養室 出席者 総数20名中16名 監事1名 ・給与規程の一部改正について ・会長専決規程の一部改正について ・報酬費用弁償規程の一部改正について ・令和元年度会計第1号補正予算 ・自動車保険フリート契約（任意保険）の締結 ・理事の推薦について ・評議員の推薦について ・第2回評議員会の開催 ・高齢者あんしんサポート事業の実施について 以上原案どおり可決	<ul style="list-style-type: none"> ・役員、評議員の費用弁償の経過及び他市との比較について ・自主財源の状況について ・交通事故の状況について ・交通事故に関する研修、注意喚起について ・高齢者あんしんサポート事業預託金の設定根拠について
第4回 コロナウイルス感染拡大防止のため 書面同意による決議の省略とした	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 平成31年3月18日（水）付 書面同意による決議の省略 同意者数 全理事20名 監事3名提案異議なし ・給与規程の一部改正について ・令和元年度会計第2号補正予算 ・令和2年度事業計画 ・令和2年度会計予算 ・総合福祉センター清掃業務契約の締結 ・総合福祉センターエレベーター保守点検業務契約の締結 ・美保関介護センター給食業務契約の締結 ・第3回評議員会の開催（決議の省略） 	
その他決議の省略	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 平成31年4月1日（月）付 同意者数 対象理事18名 監事3名提案異議なし ・理事選任のための評議員会の開催（決議の省略） ・専務理事の選任について 	

②評議員会

事業名等	内容	質疑・意見等
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 令和元年6月18日(水) 10:00～ 場所 松江市総合福祉センター4階 教養室 出席者 総数23名中12名 ・平成30年度事業結果報告 ・平成30年度会計収支決算 ・役員を選任について <p style="text-align: center;"><u>以上原案どおり可決</u></p>	
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 令和元年12月25日(水) 13:30～ 場所 松江市総合福祉センター4階 教養室 出席者 総数24名中18名 ・会長専決規程の一部改正について ・報酬費用弁償規程の一部改正について ・令和元年度会計第1号補正予算 ・理事の選任について ・高齢者あんしんサポート事業の実施について <p style="text-align: center;"><u>以上原案どおり可決</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者あんしんサポート事業の、他市の状況、対象の範囲、契約の終了、預託金などについて ・市民後見について
第3回 コロナウイルス感 染拡大防止のため 書面同意による決 議の省略とした	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 令和2年3月25日(水) 付 書面同意による決議の省略 同意者数 全評議員24名 ・令和元年度会計第2号補正予算 ・令和2年度事業計画 ・令和2年度会計予算 	
その他決議の省略	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 平成31年4月1日(月) 付 同意者数 対象理事18名 監事3名提案異議なし ・理事選任について 	

③監査会

理事の業務執行の状況および法人の財産の状況について、監事による監査を実施しました。

事業名等	内容	質疑・意見等
監査会	●日時 令和元年5月21日(火) 15:00～ ・平成30年度 事業報告、会計収支決算監査	事業報告書、財務諸表正確であり不整の点なし

④正副会長会

事業名等	内容
第1回	●日時 令和元年5月24日(金) 11:00～ 場所 松江市総合福祉センター 会議室 出席者 会長1名、副会長2名 ・第1回理事会・第1回評議員会議案等について
第2回	●日時 令和元年12月11日(水) 11:00～ 場所 松江市総合福祉センター 会議室 出席者 会長1名、副会長2名 ・第3回理事会・第2回評議員会議案等について
第3回	●日時 令和2年3月11日(水) 11:00～ 場所 松江市総合福祉センター 会議室 出席者 会長1名、副会長2名 ・第4回理事会・第3回評議員会の書面審議(決議の省略)について ・顧問弁護士契約について ・令和3年度正規職員採用試験について ・新型コロナウイルス対策について

⑤重点事業推進会議の取り組み

専務理事、常務理事、事務局長、各課の課長、係長が参加し、毎月第4水曜日に、重点事業や第4期発展強化計画の進行管理、地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業の進捗管理を行い各課の情報を共有しました。また新たなニーズに対しての、企画立案やプロジェクトの立ち上げについて方向性を示しました。

⑥中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会

今年度新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定されていた総会、研修会は中止となりま

した。

⑦八市社協会

今年度新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定されていた研修会は中止となりました。

1-(2) 広報

【総務課】

①社協だより・刊行物等の発行

「まつえ社協だより」を年6回公民館・自治会町内会を通じて各世帯に配布し、福祉情報の提供を行うとともに、社協活動への理解と協力を求めました。また視覚障がい者の方へもよりわかりやすい情報提供ができるよう音訳及び点訳版を発行しました。

年6回発行（5月・7月・9月・11月・1月・3月）A4版 白黒 6ページ

巻数	発行月	発行部数	表紙の内容
第121号	令和元年 5月	1号につき 77,900部 (音訳) 137部 (点訳) 63部	社協会費ご協力をお願い
第122号	令和元年 7月		コミュニティソーシャルワーカーの主な役割
第123号	令和元年 9月		「みんなのいこい食堂」紹介
第124号	令和元年 11月		赤い羽根共同募金募金お願い
第125号	令和2年 1月		松江市社協から新年のご挨拶
第126号	令和2年 3月		見守りネットワーク事業の啓発

②ホームページ <http://www.shakyou-matsue.jp/>

ホームページによって、社協の組織、事業、イベント、地区社協の活動など様々な情報をタイムリーに発信するように努めました。

項目	令和元年度(件)	
	アクセス数	ユーザー数
件数	38,052	22,123

1-(3) 社協会費、募金等

①社協会費

【総務課】

5月から市内町内会自治会等にご協力をいただきながら社協会員を募集し会費を納入していただきました。

◆令和元年度 社協会費 (単位：円)

区 分	件 数	金 額	H30 年度実績
一般会費	817 自治会	26,626,929	27,507,712
特別会費	24 件	51,000	182,000
団体会費	68 件	273,000	260,000
法人会費	125 件	705,000	715,000
計		27,655,929	28,664,712

*一般会費とは 1世帯当たり 800 円

*特別会費とは 個人で一口 2,000 円以上

*団体会費とは 福祉施設対象で一口 3,000 円以上

*法人会費とは 企業対象で一口 5,000 円以上

②日赤会費

【総務課】

5月の赤十字運動月間を中心に、市内町内会自治会の方々のご協力により、会員へのご加入と会費のお願いをしました。日本赤十字社島根県支部松江市地区長 松浦正敬(市長)

◆令和元年度 日赤会費 (単位：円)

区 分	件 数	金 額	H30 年度実績
普通会費	815 自治会	21,603,396	22,340,480
特別会費	36 件	118,100	126,100
法人会費	112 件	782,000	702,000
募金箱	0 件	0	1,000
計		22,503,496	23,169,580

*普通会費とは 1世帯当たり 700 円以上

*特別会費とは 個人 1回 2,000 円以上で積立 20,000 円以上

*法人会費とは 企業対象

③共同募金

【総務課】

共同募金は、「赤い羽根募金」として広く知られています。共同募金は、10月1日から12月31日まで、全国一斉に行われました。

市民の皆さんのご理解とご協力をいただき、松江市社協（地区社協）や民間団体の活動などで福祉のまちづくりを展開支援するために行う募金（寄付金）です。

◆令和元年度共同募金

（単位：円）

区 分	件 数	金 額	H30 年度実績
戸別募金	807 自治会	21,874,213	23,260,465
街頭募金	44 ヲ所	770,452	475,092
法人募金	365 件	1,784,000	1,954,240
学校募金	45 件	670,190	818,848
職域募金	97 件	782,088	746,904
イベント募金	1 件	905,996	1,054,644
物品募金	—	1,131,478	1,364,802
個人募金・その他募金	—	932,148	1,232,737
計		28,850,565	30,907,732

◆募金活動

募金種別	内 容
戸別募金	①各地区自治会・町内会連合会長を通して、各地区世帯へ依頼。 ②随時、各公民館区で協力依頼を実施。
街頭募金 (募金箱含む)	① 10月1日一斉街頭募金：市内32カ所（参加者265名） ② スサノオマジックホームゲーム（計3回） 10月6日、11月3日（場所：松江市総合体育館） 12月8日（場所：鹿島総合体育館） ③常設募金箱：由志園（八束町）、カフェ太郎（西法吉町）、島根県物産観光館（殿町）、きまち湯治村内3カ所（宍道町） ③ 運動期間中：スーパーマルマン4店舗、アイパルテ他 ④ 公民館祭りなどのイベントに共同募金ブースを設置
法人募金	①企業等へダイレクトメール ②本会役職員、事務局による訪問及び協力依頼 ③地区社協選出の募金ボランティアによる訪問及び協力依頼
学校募金	市内小中学校にドラえもん募金箱等を配布し協力依頼。 協力学校へはお礼状送付。
職域募金	図書カード・クオカード等を通じた募金依頼。 市役所、民児協、学校教職員、市内福祉事業所等を通じて依頼。
イベント募金	第71回松江市市民余芸大会の開催協力。共同募金ブースを設置。
物品募金	① ギャートルズシリーズのピンバッジを製作。公民館、事務局等を窓口とし募金を呼びかける。また企業訪問による協力依頼。 ②ガチャガチャの常設設置：松江歴史館、玉造温泉ゆ〜ゆ、堀川遊覧船事

	務所
個人募金・ その他募金	募金百貨店プロジェクト、赤い羽根自動販売機等

◆社協会費、日赤会費、共同募金の推移

(単位：円)

区 分	R1年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度
社協会費	27,655,629	28,664,712	29,139,754	29,633,651	29,892,961
日赤会費	22,503,496	23,169,580	23,736,167	24,289,976	24,849,460
共同募金	28,850,565	30,907,732	31,115,477	31,946,436	32,852,652
計	79,009,690	82,742,024	83,991,398	85,870,063	87,595,073

1-(4) 研修啓発・講座

【総務課】

①松江市社会福祉大会

事業名等	内 容
松江市 社会福祉大会	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 令和元年9月26日(木) 13:00～ 会場 島根県民会館 中ホール及びロビー 内容・ロビーイベント <ul style="list-style-type: none"> 作業所による物品販売(4施設) ・表彰式典(会長表彰及び感謝状贈呈) <ul style="list-style-type: none"> ○民生委員功労者表彰 61名 ○福祉推進委員功労者表彰 44名 ○社会福祉施設及び団体役員功労者表彰 9名 ○社会福祉施設及び団体職員功労者表彰 59名 ○優良社会福祉施設及び団体表彰 3団体 ○松江市社会福祉協議会長感謝 4名 ・記念講演 <ul style="list-style-type: none"> テーマ:「子どもの居場所を考える」 ～みんなに居場所のある地域づくり～ ○ 島根大学人間科学部 講師 佐藤 桃子 氏 <p>参加者 300人</p>

②健康福祉フェスティバル

【地域福祉課】

子どもから高齢者・障がい者も含めた市民全体が、健康で生きがいを持って社会参加できるよう、また、あらゆる世代との交流が円滑にできるように、地域等の各種団体の参加と協力を得て、健康福祉フェスティバルを開催し、高齢者・障がい者等に対するノーマライゼーションの意識づくりと、保健福祉事業の啓発を図りました。

事業名等	内 容
2019 松江市健康福祉 フェスティバル	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 令和元年 7 月 28 日（日） 9:30～15:30 会場 松江市保健福祉総合センター 内容 オープニング：幼保園のぎのみなさんによる演技 各種コーナー ・健康チェック ・各種体力測定コーナー ・健康体操体験コーナー ・障がい者施設、団体の出店・活動掲示 ・8020 よい歯のコンクール受賞伝達式 ・市立病院がんセンター放射線治療装置見学 ・ゆるキャラまつり ・スタンプラリー 等 出展団体 50 団体 延入場者数 約 1,900 人

② 第 71 回松江市民余芸大会

公募による出演者と多くの市民の皆様にご協力いただき、手作りの余芸大会として松江市・山陰中央新報社との 3 団体共催により開催しました。

この事業の収益金は島根県共同募金会へ全額寄付しました。

事業名等	内 容
第 71 回松江市民 余芸大会	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 令和元年 12 月 14 日（土） 13:00～17:00 会場 島根県民会館 大ホール 出演団体 16 団体 来場者数 約 1,300 人 チケット代 1 枚 1,800 円(当日券 2,000 円) 収益金 905,996 円（松江市共同募金委員会へ寄託）

③ 地域ケア連携推進フォーラム

毎年、あったか地域づくり協議会の共催団体として開催しますが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。予定していた内容は以下のとおりです。

事業名等	内 容
地域ケア連携推進フォーラム	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 令和2年3月7日(土) 13:00～16:30 会場 JAくにびき営農総合センター 内容 <ul style="list-style-type: none"> ○講演 <ul style="list-style-type: none"> 演題：【地域(みんな)で子育て・子育て支援】 ～だれもが孤立しないつながりづくり にしなり ☆こども食堂の取り組みから～ 講師：川辺 康子氏(特定非営利活動法人西成チャイルド・ケア・センター代表理事、こども食堂ネットワーク関西 代表) ○トークセッション <ul style="list-style-type: none"> 地域で続ける子ども支援をみんなで考えよう！！

1-(5) 篤志寄付金配分事業の推進

【総務課】

篤志寄付金は、市民の皆様からの善意の預託(寄付)金品をお預かりし、預託された方の意志に基づき地区社協やボランティアグループ・福祉団体、松江市社会福祉協議会の事業に配分し、社会福祉事業の推進に役立てられました。

(収入)

単位：円

区 分	R1年度		H30年度	
	件数	金額	件数	金額
寄付金収入	908件	27,169,395円	967件	29,646,215円

(支出)

区 分	R1年度		H30年度	
	件数	金額	件数	金額
福祉団体助成金	32件	5,132,000円	31件	6,262,314円
地区配分金	29件	15,070,895円	29件	15,056,600円
地域援助費	65件	6,095,612円	67件	6,510,779円
指定寄付金	8件	450,000円	19件	1,620,000円
助成金支出	6件	150,000円	2件	40,000円
社協事業費支出	1件	2,000,000円	1件	2,964,621円
事務費支出		660,495円		1,140,812円
計	141件	29,529,002円	149件	33,595,126円

(収支)

資金収支差額	△2,359,607 円	△3,948,911 円
次期繰越金	10,369,366 円	12,728,973 円

1-(6) 共同募金配分事業の取り組み（松江市共同募金委員会）

【総務課】

NPO 法人、ボランティア団体等の活動支援（地域福祉活動推進事業）を目的に配分金について公募し、審査を行いました。【令和元年度募金（令和 2 年度事業）】

地域福祉活動推進事業（公募配分）

決定総額 1,312,300 円

	申請団体名	事業名
1	ともに支える城北の会	オレンジキッチンレシピづくり
2	特定非営利活動法人 プロジェクトゆうあい	障がい児のための音楽ワークショップ 「たのしい楽団」の開催・運営
3	いけずご王国	自信をもって子育てに取り組むためのワーク ショップ
4	社会福祉法人 島根ライトハウスライブラリー	第 19 回 ら・ら・ふえすた
	申請団体名	事業名
5	ありママクラブ	子育てを楽しむ異世代ネットワークによる子 どもたちの豊かな心を育むまちづくり事業
6	だんだんパソコン倶楽部	子どもの学習ひろば作り
7	しまね四季の学び舎	松江地区キッズ・ダイバーシティ・キャンプ 「パートⅢ」
8	八雲ゆう人会	八雲ゆう遊こいのぼり
9	持田地区社会福祉協議会	児童クラブ待機児童の居場所づくり

2. 地域福祉及び連絡調整の強化

2-(1) 第5次松江市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定

【地域福祉課】

第5次松江市地域福祉計画・地域福祉活動計画について松江市の社会福祉審議会において市との合同事務局で検討を重ねました。計画書には29地区の地区地域福祉活動計画ダイジェスト版を作成して掲載しました。また市民ワークショップを行い、参加者から出た意見をまとめて計画に反映させました。

計画期間は令和2年度から令和6年度です。

◆策定スケジュール

日時	項目	内容
5月31日(金)	第1回庁内連絡会	・第1回社会福祉審議会の内容について
6月5日(水)	第1回社会福祉審議会	・第4次計画の進捗状況報告 ・社会福祉審議会専門分科会における審議事項報告 ・第5次計画の策定について（スケジュール等）
7月4日(木)	松江市地区社会福祉協議会 会長会からの提言	・松江市長、松江市社会福祉協議会会長に対し提言書 を提出
8月28日(水)	第1回ワークショップ	18:00～20:30 開催（平日） テーマ：「松江市の課題解決力」
9月7日(土)	第2回ワークショップ	13:30～16:00 開催（土曜日） テーマ：「松江市の課題解決力」
10月1日(火)	第2回庁内連絡会	・第2回社会福祉審議会の内容について
10月4日(金)	第2回社会福祉審議会	・オブザーバー上野谷教授講演 ・社会福祉審議会専門分科会における審議事項報告 ・第4次計画の進捗状況報告 ・松江市地区社会福祉協議会会長会からの提言・ ワークショップ報告 ・第5次計画の体系(案)の審議
11月15日(金)	第3回庁内連絡会	・第3回社会福祉審議会の内容について
11月20日(水)	第3回社会福祉審議会	・社会福祉審議会専門分科会における審議事項報告 ・第5次計画(案)の審議
12月5日(木) ～20日(金)	パブリックコメント	・第5次計画(案)について実施
2月5日(水)	第4回庁内連絡会	・第4回社会福祉審議会の内容について
2月12日(水)	第4回社会福祉審議会	・第5次計画最終(案)の審議
3月13日(金)	計画書の提出	・松江市長・松江市社会福祉協議会会長に対し計画 書を提出。

2-(2) 地域福祉の推進

【地域福祉課】

①コミュニティソーシャルワーク（CSW）の展開

今年度はCSWが各包括支援センターと同じ事務所に席を置くことで、より住民の身近な場所で相談を受ける体制をつくりました。特に専門窓口の制度やサービスにつながるまでの支援、地域の民生児童委員等との連携が必要なケースにおいては、実態把握のための訪問や連絡調整などの役割を果たしました。また、8050問題を抱える世帯や自宅が不衛生な状況の世帯（いわゆるゴミ屋敷）など制度の狭間にある方々への支援もおこないました。

◆CSWにおける個別ケースへの支援状況（6エリア合計）

支援内容	回数
個別支援ケース実数	109人
個別支援延べ対応主訴数	148回
個別支援ケース延べ対応数	446回
関係機関や関係者に対して行った働きかけ	157回

◆CSWにおける地域での新たな取り組み

ア) なごやかで買い物ツアー

美保関笹子・雲津地区で買い物に苦慮している住民に対し、美保関介護センターの車両を使い商業施設への移送・買い物支援を行いました。

モデル事業として10月から3月まで月1回行い、2地区で20人（延べ54人）が参加されました。次年度は雲津地区にて継続して支援を行います。

イ) 松農カフェ

松江農林高校を“生きがい”“やりがい”の拠点（居場所）として、地域の高齢者等の方々が気軽に立ち寄って、高校生との交流などを行うことで、高齢者の孤立防止、介護予防はもとより、高齢者の生きがいがいづくりに繋げることを目的として開催しました。

『松農カフェ』は総合学科福祉サービス系列で福祉を学ぶ3年生が、先生や市社協CSWの助言を受けながら内容を企画し、12月6日に、「えきなんなごやか」11名と民生児童委員2名、高校生（15名）がレクリエーションと茶話会を通じて楽しく交流しました。

次年度は開催回数を増やして実施します。

ウ) すまいるサンキフェス

今後、高齢化社会がさらに進んでいくと玉湯地区に於いても高齢による引きこもりケースが増加することが予想されることから、高齢者が気軽に参加できる居場所が必要と考え、グループホーム玉湯、地元自治会長、民生児童委員、湖南地域包括支援センター等による運営委員会を立ち上げ、グループホーム玉湯を会場に「すまいるサンキフェス」を企画・開催しました。

開催回	日にち	参加者	内容
第1回	11月13日	湯町西二自治会（4名）、施設利用者（9名）利用者家族（1名） ボランティア団体グループ：玉つばき ゲスト：玉湯幼稚園（年長8名）	幼稚園児の出し物 茶話会・交流

第2回を3月18日に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

②地区社協・各種団体との連携

福祉推進員や民生児童委員との連携を図り研修会や勉強会を開催しました。

ア) 地区研修会（地区社協と協力して実施）

○福祉推進員の委嘱状交付式にあわせ福祉推進員の目的や役割を説明し福祉推進員活動が各地区の実情に合わせ展開できるように研修会を開催しました。

また、民生児童委員と福祉推進員の合同研修会に参加し、普段からの見守りの視点を共有できる見守りチェックリスト等を活用した研修会を行いました。

イ) 地区活動の支援

○各地区で地区地域福祉活動計画に基づき実施された事業について一緒に考え実践しました。特に、各地区で開催されているなごやか寄り合い事業については、各地区で世話人やボランティアとの交流会を開催するなどお互いの情報共有を図りました。

ウ) 民生児童委員協議会への参加

○毎月開催された民生児童委員協議会常務会、地区民生児童委員協議会定例会に職員が出席し、情報交換や連携の促進に取り組みました。

③地区社会福祉協議会活動支援事業（すこやかライフ推進事業）

住み慣れた地域において住民が主体となって、乳幼児から高齢者、障がい者など日常的に援助を必要とする人々への保健・福祉活動を推進するとともに福祉コミュニティの形成を図ることを目的として、地区社協活動を支援し、地域福祉の推進に寄与しました。

ア) 必須事業

地域における要援護者に対する見守りネットワークを形成するとともに、必要な支援活動を行う地区に対し助成を行い、活動の助言・協力を行いました。

イ) 重点・選択事業

地域住民の保健、福祉を増進するための活動として、さまざまなメニューの中から地域の実情にあわせ選択された活動に対し助成を行い活動の助言や支援を行いました。

事業名等	内 容	地区数	金 額
必須事業	1 地区社協 100,000 円	29 地区	2,900,000 円
重点・選択事業	1 地区社協 300,000 円	29 地区	8,700,000 円
合計			11,600,000 円

◆重点・選択事業の内容一覧

地区名	重点事業	選択事業
松東エリア	川津	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉の集い ・子育て支援事業 ・広報活動
	朝酌	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい会食、ミニデイサービス ・子育て支援事業・ボランティア養成講座
	本庄	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい会食サービス
	持田	<ul style="list-style-type: none"> ・配食サービス ・やすらぎ喫茶事業
	島根	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協啓発事業（ふれあい祭）
	美保関	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア養成講座の開催 ・子育て支援活動 ・障がい児（者）の社会参加をすすめる活動
	八束	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援事業 ・地域交流サロン「どげな会」
中央エリア	城北	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい会食 ・ミニデイサービス ・障がい児(者)社会参加を進める活動 ・第4次地区福祉活動計画の推進に係る研修会の実施
	城西	<ul style="list-style-type: none"> ・なごやか寄り合い事業 ・子育てサロンの開催
	城東	<ul style="list-style-type: none"> ・防災に関する事業 ・子育て支援 ・地域福祉計画推進事業

地区名	重点事業	選択事業	
	白湯	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりの推進事業 介護予防、閉じこもり予防の推進事業 	<ul style="list-style-type: none"> なごやか寄り合い事業 友愛訪問 広報啓発活動事業 子育て支援事業 障がい児(者)の社会参加を進める活動
	朝日	<ul style="list-style-type: none"> 地域で支えあい閉じこもり予防、介護予防の促進 健康づくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 地域ふれあい活事業 障がい児(者)の社会参加を進める事業 地区社協関係者合同研修会 情報誌の発行
	雑賀	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり事業 地域の支え合いづくり事業 ほっとさいか(雑賀認知症見守りの会) 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館喫茶「憩い館」
松北エリア	古江	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり活動の推進 なごやか寄り合い支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> 古江給食サービス
	秋鹿	<ul style="list-style-type: none"> なごやか寄り合い 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者すこやかふれあい大会 そよかぜ交流会・弁当配食 湖北だんごの会支援事業 第5次秋鹿地区地域福祉活動計画
	大野	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防・閉じこもり予防の推進 健康づくり活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ミニデイサービス(なごやか寄り合い事業) お年寄りとの交流事業 乳幼児教学級(きらきら学級) 配食サービス ・社協だよりの発行
	法吉	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり・認知症対策 	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会福祉対策支援事業
	生馬	<ul style="list-style-type: none"> 元気で長生き道場 	<ul style="list-style-type: none"> 情報誌の発行 ・高齢者いきいき事業 子育て支援 配食サービス 高齢者世帯及び障がい者の福祉調査 町内ミニデイサービス 年末見舞い
	鹿島	<ul style="list-style-type: none"> 鹿島地区健康づくり事業 男性介護者交流会 なごやか世話人活動支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> 広報誌の発行 子育て支援事業
	津田	<ul style="list-style-type: none"> こころとからだの健康づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア喫茶 ・友愛訪問 つだ福祉だよりの発行

地区名	重点事業	選択事業	
松南1エリア	大庭	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者ふれあい運動会 ・高齢者福祉講座、研修会、健康講座 ・閉じこもり予防活動 友愛訪問 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい会 ・あそび広場 ・「おおば福祉だより」の発行 ・巡回相談室の開催
	古志原	<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心見守り事業 ・介護予防・健康推進事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉ネットワーク事業 ・広報事業
松南2エリア	竹矢	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり講座 ・介護・生活習慣病予防講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援
	八雲	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食サービス
	東出雲	<ul style="list-style-type: none"> ・健康まつえ 21 推進事業 ・乳幼児期健康づくり活動の推進 ・なごやか寄り合い研修会事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者安否確認事業
湖南エリア	乃木	<ul style="list-style-type: none"> ・乃木さんあい健康教室 ・男の料理教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい弁当サービス ・地域福祉事業
	忌部	<ul style="list-style-type: none"> ・保健協力員・福祉推進員・健康忌部 2 1 推進隊研修会 ・公民館喫茶 ・情報交換会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・すこやか交流会(ミニデイ) ・年越しそば配食サービス
	玉湯	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防、閉じこもり予防活動の推進 ・健康づくり活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・配食・会食サービス ・子育て支援事業
	宍道	<ul style="list-style-type: none"> ・にこにこサロン（脳活性化・転倒予防教室） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい会食サービス ・シルバーレクリエーション（一人暮らし高齢者外出レクリエーション）

④地区社協会長会、幹事会及び事務局連絡会議

○地区社会福祉協議会相互の連絡・調整を図り、地区社協活動の発展と地域福祉の推進に努めることを目的として地区社協会長会（2回開催：3月開催予定だった第3回会長会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）・幹事会（4回開催）の開催に協力しました。

○令和2年1月23日（木）に開催された3団体合同研修会に地区社協会長会事務局として協力し公民館館長会、自治会連合会との連携を図りました。令和元年度は地区社協会長会が主管団体で三団体事務局の打ち合わせ会（

3回開催）などを招集しました。（地区社協会長会25名参加）

○各地区社協会長のスキルアップと相互の交流を図るため令和元年9月13日（金）～14日（土）山口県 萩市社会福祉協議会の視察研修を行いました。

⑤福祉推進員代表者会

福祉推進員が行う地域福祉活動を円滑に行うため、また福祉推進員の活動に必要な研修会の開催を検討するために幹事会並びに代表者会を開催しました

◆代表者会・研修会

事業名等	内容
代表者会 第1回	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 令和元年5月29日(水) 14:15～15:15 会場 松江市総合福祉センター(教養室) 内容 <ul style="list-style-type: none"> ・役員について ・令和元年度事業計画(案)について ・情報交換 参加人数 29名
代表者会 第2回	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 令和元年11月13日(水) 14:00～15:00 会場 城西公民館 交流ホール『宍道湖1,2』 内容 <ul style="list-style-type: none"> ・新聞配達員による見守り活動について 川津公民館 三宅克正館長からの実践報告 ・子どもの見守りについて 健康推進課 池田保健師より説明 ・福祉推進員ブロック研修会の内容について 参加人数 26名

⑥福祉推進員研修会

ア) 福祉推進員初任者研修会の開催

新任の福祉推進員及び参加を希望される再任の福祉推進員を対象に、福祉推進員の役割、関係機関(市社協、地区社協、包括支援センター等)の役割や連携についての説明を行いました。

また、市内の2地区の福祉推進員の方から日頃の活動事例の発表をしていただき、福祉推進員の役割について理解を深めていただきました。

◆福祉推進員初任者研修会

事業名等	内容
福祉推進員初任者 研修会	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 令和元年6月17日(月) 13:30～16:00 会場 総合福祉センター4階大ホール 内容 <ul style="list-style-type: none"> 【活動報告】 ・島根地区 小川 幸代氏 ・鹿島地区: 田中 源一氏 【講演会】「だれでも安心して暮らせるまちって？」 講師: ご近所福祉クリエイター 酒井 保氏 ●参加人数 119名

イ) 福祉推進員ブロック研修会の開催

社会的孤立について理解を深めることに加え、「自分たちには何ができるのか」を考え、日々の活動の一助になることを目的として開催しました。

◆福祉推進員ブロック研修会

事業名等	内容
ブロック研修会	<p>●日時・参加地区・参加人数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湖南ブロック 令和2年2月5日(水) 13:30~15:30 乃木・忌部・玉湯・宍道 19名参加 ・松東ブロック 令和2年2月6日(木) 13:30~15:30 朝酌・川津・持田・本庄・島根・美保関・八束 19名参加 ・松北ブロック 令和2年2月7日(金) 13:30~15:30 古江・秋鹿・大野・法吉・生馬・鹿島 26名参加 ・松南ブロック 令和2年2月12日(水) 13:30~15:30 津田・大庭・古志原・竹矢・八雲・東出雲 28名参加 ・中央ブロック 令和2年2月13日(木) 13:30~15:30 城北・城西・城東・白潟・朝日・雑賀 14名参加 <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的孤立の予防《おせっかいの輪を広げよう》をテーマに冰山モデル(表面化している困りごとと、その背後には個人的・社会的な課題や価値観があるととらえる考え方)を活用したケースへの理解、及び福祉推進員としてできることを考えていただくためのグループワークを実施しました。

⑦あったかスクラム事業の支援

【生活支援課】

特別な支援が必要な子どもたちの余暇活動・親の会の活動支援、また、地域交流や支援体制の仕組みづくりを推進しました。

ア) 障がいのある子どもとその保護者への支援

- あったかスクラム事業の支援を行い、継続して活動が出来るように支援
- 事業計画会議や親の会、子どもたちの活動に参加し情報を提供
- あったかスクラム事業新規立ち上げの支援
- あったかスクラム事業のPR(パンフレット配布、市社協だよりにて活動紹介)
- 地区社協、福祉推進員、民生児童委員等へ協力の呼びかけ

イ) ふれジョブの支援

- 地区のふれジョブ定例会等に参加、企業・学校への協力依頼

○ふれジョブのコーディネート

○地区社協、福祉推進員、民生児童委員等へ協力の呼びかけ

*ふれジョブとは・・・

地域の人がボランティアでジョブサポーターとなり、学校から地域の企業に毎週1回、障がいのある子とともに、1時間程度就労体験し、障がいのある子もそうでない子も一緒に生きていくことができる地域社会を共に創るための活動です。

ウ) ヒアリング・アンケート調査

○未実施地区の一つである東出雲地区に対してヒアリングとアンケートを実施しました。

○当事者団体の元代表に対してヒアリング

○地区内の特別支援教育担当教員に対してヒアリング

○地区内の小中学校の保護者に対してアンケート「障がいのある子どもたちや特別な支援が必要な子どもたちの放課後等の過ごし方、居場所等に関するアンケート調査」

エ) 2019 健康福祉フェスティバルのブース出展

あったかスクラムの活動の市民啓発を目的に、2018 健康福祉フェスティバルでのブース出展を行いました。

◆ブース出展

事業名等	内容
ブース出展	●2019 健康福祉フェスティバルのブース出展 【日時】 令和元年 7 月 28 日(日) 9:30～15:30 【会場】 松江市保健福祉総合センター 【内容】 ①あったかスクラムの活動についてのポスター展示 ②ポケットティッシュ配布

オ) 情報交換会

事業名等	内容
情報交換会	●令和元年度あったかスクラム情報交換会 【日時】 令和 2 年 2 月 14 日(月) 10:00～12:00 【会場】 松江市総合福祉センター 4 階 【内容】 ①グループ情報交換会 「おしえて！安心して行ける場所 過ごせる場所」 ②全体で各グループの発表 【対象者】 地区社協関係者、民生児童委員、福祉推進員、サポーター、ボランティア、あったかスクラム代表者、市内特別支援学校関係者、保健師、知的障がい児・者の相談員、放課後等デイサービス事業所職員 参加人数 47 人

⑧生活再建おうちクリーニング事業

【地域福祉課】

市民が安心・安全に住みなれた地域で暮らすため、高齢化や疾病、障がい等により身の整理整頓、衛生的な生活環境が保てないことによる健康被害や教育環境を整えることが難しい世帯に対し、市と市社協が協力し、ゴミの片付け、運搬を実施し、自立に向けた支援を行いました。

年度	利用者数
R1 年度	1 件
H31 年度	4 件
H30 年度	4 件

2-(3) 広域福祉事業の推進

【生活支援課】

①福祉サービス利用援助事業の推進

認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者など判断能力が不十分な方々に対して、できる限り地域で安心して自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理サービス、書類等の預りサービスを行いました。また、関係機関への周知及び連携など事業の円滑な推進に努めました。

◆相談・問合せ件数

年度	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計
R1 年度	1,400 件	2,442 件	2,027 件	11 件	5,880 件
H30 年度	1,072 件	2,188 件	1,886 件	29 件	5,175 件
H29 年度	1,361 件	1,924 件	1,455 件	82 件	4,822 件

◆契約締結人数

() 内は年度内契約件数

年度	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計
R1 年度	163 名(6)	140 名(6)	98 名(6)	5 名(0)	406 名(18)
H30 年度	157 名(8)	134 名(7)	92 名(2)	5 名(0)	388 名(17)
H29 年度	149 名(1)	127 名(6)	90 名(3)	5 名(1)	371 名(11)

◆現在の実利用人数

年度	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計
R1 年度	20 名	79 名	32 名	1 名	132 名
H30 年度	18 名	74 名	33 名	2 名	127 名
H29 年度	16 名	67 名	37 名	2 名	122 名

「その他」は、高次機能障がいの方

◆生活支援員の配置状況

年度	登録者数	内活動者数
R1 年度	63 名	40 名
H30 年度	63 名	39 名
H29 年度	65 名	42 名

◆生活支援員研修会

権利擁護支援従事者研修を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。

②法人成年後見事業

成年後見制度とは、認知症、知的障がい、精神的疾病などにより判断能力が十分でない方の権利や財産を守り、支援していく制度です。法人後見事業は、社会福祉法人松江市社会福祉協議会が法人として成年後見人等に就任し、後見事務を行っていく事業で、ご本人の財産管理や契約等の支援を行いました。

◆法人成年後見事業の推移

年度	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	計
R1 年度	6 件(後見 6)	4 件(保佐 1・後見 2・監督 1)	5 件(後見 4・監督)1	15 件
H30 年度	6 件(後見)	3 件(保佐・後見)	4 件(後見・監督)	13 件
H29 年度	4 件(後見)	5 件(保佐・後見)	1 件(後見)	10 件

◆法人後見支援員の配置状況

年度	登録者数	内活動者数
R1 年度	2 人	1 人
H30 年度	2 人	1 人
H29 年度	2 人	1 人

③市民後見人等養成事業

ア) 市民後見人等養成講座(実務編)の実施 修了者4名(28.5単位+レポート作成2)

開催日	時間	科目	担当
①6月29日(土) 総合福祉センター 1F会議室	10:00~10:30	開講式	市、社協
	10:30~12:00	成年後見の実務 ①申立手続き書類作成	法テラス島根 弁護士 桑原 慶氏
	13:00~15:00	対人援助の基礎	松江市くらし相談支援センター 相談員 奥原宏幸
	15:00~15:30	体験実習①	生活支援課
②7月6日(土) 総合福祉センター 1F会議室	8:50~10:20	地域福祉の現状と課題	地域福祉課 地域福祉係長 梅 澄子
	10:30~12:30	家庭裁判所の役割	松江家庭裁判所 主任書記官 桑原昌美氏
	13:10~15:10	成年後見の実務 ① 財産目録作成 後見計画・収支予定表作成	法テラス島根 弁護士 桑原 慶氏
	15:20~16:50	成年後見の実務 ③報告書作成	
③7月13日(土) 総合福祉センター 1F会議室	9:00~10:30	成年後見の実務 ④身上監護の実務・知識	法テラス島根 弁護士 吉田智子氏
	10:40~12:10	成年後見の実務 ⑤後見終了時の手続き	
④7月1日以降～ 下旬で実施	平日3時間	体験実習②	生活支援課
⑤7月1日以降～ 下旬で実施	平日4時間	体験実習③	障がい者施設、高齢者施設
⑥7月20日(土) 総合福祉センター 1F会議室	9:00~15:00	成年後見の実務 ⑥課題演習	法テラス島根 弁護士 吉田智子氏
	15:10~16:40	地域の現状	松江市福祉総務課
	16:40~17:10	閉講式	市、社協

※レポート作成(A4用紙1枚程度)

- ①「施設体験実習報告」 ②「自分で描く市民後見人像とは・・・」

イ) 市民後見人等養成講座（基礎編）の実施 修了者 10人（13単位）

◆市民後見人等養成講座（基礎編）プログラム

講座	月 日	項 目	時 間	担 当
講座 1	11月9日（土） 福祉センター 2F身障者研修室	開講式	10:00～10:10	松江市社協生活支援課
		成年後見制度（法人後見）、 市民後見人等養成講座事業 説明	10:10～10:35	
		成年後見制度DVD研修	10:35～11:10	
		日常生活自立支援事業の 実際（DVD研修）	11:15～12:00	松江市社協生活支援課
		成年後見制度概論（心構え） 成年後見人の業務	13:00～16:00 （休憩含む）	法テラス島根法律事務所 弁護士 吉田智子氏
講座 2	11月17日（日） 福祉センター 2F身障者研修室	消費者被害への対応	9:30～10:10	島根県消費者センター 消費生活相談員
		障がい者制度と福祉 サービス	10:15～10:55	松江市障がい者福祉課 障がい者福祉係 係長 宍道光裕氏 給付・審査係審査リーダー 平塚由加氏
		障がい者の特性と理解（知的障がい、精神障がい）	11:00～12:00	まつえ障がい者サポート ステーション絆 相談員 梶谷余裕氏
		認知症高齢者の特性と理解 介護保険制度のしくみと内容	13:00～15:00	地域包括ケア推進課 湖南地域包括支援センター サテライト 社会福祉士 錦織 満
講座 3	11月23日（土） 福祉センター 2F身障者研修室	申立支援 任意後見人の業務 就任直後の職務 就任中の職務 任務終了に関する事務	13:00～16:30 （休憩含む）	法テラス島根法律事務所 弁護士 吉田智子氏
		市民後見人等の役割と連携	16:30～16:50	松江市社協生活支援課
		閉講式	16:50～17:00	

ウ) 市民後見人バンク登録 登録者 11名

松江市市民後見人等養成講座修了者で本会の市民後見人バンク運営基準を満たした方に市民後見人バンクに登録していただいています。1名が新たに登録されました。

エ) 市民後見人 1名

松江家庭裁判所から市民後見人の推薦依頼があり、市民後見人バンク登録者の内2名を推薦し、1名が市民後見人として選任されました。

オ) 成年後見制度講座の開催

成年後見制度の理解と周知を目的として、「ご存知ですか？成年後見制度」をテーマに成年後見制度の制度説明や具体的な活動内容等の市民講座を開催しました。

事業名等	内容
成年後見制度啓発事業	日時 令和元年9月29日(土) 13:30~15:00 会場 いきいきプラザ島根 内容 成年後見制度講座「ご存知ですか？成年後見制度」 講師 弁護士 桑原 慶 氏(法テラス島根法律事務所) 参加者 25人

④市民後見人養成講座フォローアップ・生活支援員研修

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。

3. ボランティア活動及び福祉教育

3-(1) コーディネート機能強化

【地域福祉課ボランティアセンター】

ボランティアをしたい人、ボランティアを必要とする人をつなぐ機能を強化し、高齢者や障がい者など支援を必要とする人が地域の中で自立した生活ができるよう支援しました。

◆ボランティア登録人数及び団体数

登録ボランティア分類	R1年度	H29年度	H28年度
個人ボランティア	131名(28)	106名(30)	193名(11)
団体ボランティア	97団体(3)	77団体(6)	109団体(2)

() は新規登録者(団体)数

◆ボランティアの斡旋実績

利用状況	R1年度	H30年度	H29年度
派遣依頼数	240件	217件	232件
派遣団体数	137団体	106団体	134団体
個人ボランティア延派遣者数	81人	153人	107人
コーディネート数	215件	180件	197件
キャンセル・該当者なし	27件	37件	35件

◆相談機関・団体等との連携推進

個別支援の対応として、個人登録者・「ゆうあいヘルプ」「松江市暮らし相談支援センター」「まっつえ障がい者サポートステーション絆」「地域包括支援センター」を含む市社協や市等関係機関と連携しボランティアのコーディネートを行いました。

3-(2) ボランティアの育成、養成

ボランティア活動の基本的知識、取り組む姿勢の育成・養成を行いました。

①育成研修

①-1 サマーチャレンジボランティア 2019 (高校生ボランティア育成研修)

「福祉ネットだんだんね」の協力を得て、2か所の社会福祉法人への「小規模作業所等体験バスツアー」を開催しました。

実施期間：令和元年8月8日(木)

参加者数：

	R1年度	H30年度	H29年度
	9名	22名(中止)	12名

①-2 あいサポート研修

障がいのある方が暮らしやすい地域社会(共生社会)の実現を目指す「あいサポート運動」の推進に取り組みました。

ア)「あいサポートメッセンジャー」の育成

○メッセンジャー育成研修（島根県主催）に参加しました。（15名参加）

○松江市内のメッセンジャー登録者（164名）に対し、派遣調整を行いました。

イ) あいサポート運動の啓発

○島根県が行う啓発事業に参加しました。

令和元年12月3日(火)、松江駅、メッセンジャー・職員計5名が参加協力しました。

ウ) あいサポーター研修の受付・推進

○企業、団体等に対してメッセンジャーを派遣し、研修を実施しました。

実施団体数・・・29団体 35回 受講人数・・・1,296人

◆あいサポーター研修実施団体詳細

団体種別	団体数	団体種別	団体数
小学校	1	地域住民	5
中学校	1	行政関係	3
各種学校	3	その他	11
企業	5	合計	29

エ) あいサポートメッセンジャーの登録・活動継続の意思確認

◆メッセンジャー登録者数

R1年度	H30年度
163名	174名

オ) あいサポート通信の発行

○登録者に対する情報提供として、「あいサポート通信」を作成し配布しました。

②養成研修

②-1 ボランティア入門講座の開催(くらし安心サポートセミナーを兼ねて開催)

開催日 : 令和元年11月29日

会場 : 松江市総合福祉センター

受講者数 : 9名

②-2 ボランティア登録時研修

新規登録者30名が登録される際に随時「ボランティアの心得」を説明しました。

②-3 介護の入門的研修

開催日 : 令和元年10月31日・11月1日・5日・6日

会場 : 松江市総合福祉センター

受講者数 : 3名

3-(3) ボランティアの活動支援

①ボランティアルームの開放、備品の貸出し及び保険の加入促進

◆ボランティアルーム利用状況

利用状況	R1年度	H30年度	H29年度
実利用日数	188日	185日	209日
延べ利用団体数	227団体	201団体	228団体
延べ利用人数	1,228名	1,195名	1,293名

◆ボランティア活動に伴う機材等の貸出

貸出機材	R1年度	H30年度	H29年度
印刷機	125件	140件	159件
コピー機	106件	72件	71件
車椅子	105件	69件	108件
アイマスク	1件	4件	5件
その他(高齢者疑似体験セット・スクリーン等)	34件	21件	41件

◆ボランティア保険の加入促進

ボランティア保険種類	R1年度	H30年度	H29年度
ボランティア活動保険	8,459名	7,668名	8,112名
ボランティア行事用保険	619件	699件	557件
福祉サービス総合補償	17件	14件	14件
送迎サービス補償	4件	4件	3件
災害保険	201名	415名	143名

※事故取扱件数9件

②ボラカフェの開催

ボランティアをしたいけど、何をしたいかわからない。一步を踏み出したいという人のきっかけづくりとして、ボランティアルームにて古切手整理の軽作業を実施しました。

○開催日 令和元年12月から令和2年3月まで毎月第2木曜日 14:00~16:00

③松江市ボランティア連絡協議会との連携、活動支援

ア) 松江市ボランティア連絡協議会登録団体数

分類	R1年度	H30年度	H29年度
健康・福祉・まちづくり	32団体	32団体	45団体
子ども・青少年・人権	21団体	21団体	13団体
文化・芸術・スポーツ・レクリエーション・国際・情報	35団体	34団体	34団体
計	88団体	87団体	92団体

イ) 主な活動

機関紙の発行：第 38 号、第 38 号

赤い羽根共同募金運動街頭募金活動への参加協力：令和元年 10 月 1 日(火)

2019 松江市健康福祉フェスティバルへの出展参加：令和元年 7 月 28 日(日)

2019 松江共創・協働マーケットへの出展参加：令和元年 7 月 17 日(水)

松江城・街・美化ウォークの開催：令和元年 11 月 2 日(土)

第 15 回記念松江市ボランティアフェスティバルの開催：令和 2 年 3 月 1 日(日) 中止

各種会議の開催：役員会 10 回、運営委員会 2 回、総会、広報委員会 2 回

松江城・街・美化ウォーク 打合せ会 5 回

④企業ボランティア松江ネットワーク会議との連携、活動支援

ア) 加入者数：企業会員 65 企業、個人会員 68 名

イ) 企業ボランティア松江ネットワーク会議総会・研修会の開催

事業名等	内 容
総会・研修会	●日時 令和元年 9 月 18 日 (水) 15:00~17:00 会場 ホテル白鳥 3F 鳳凰の間 講師 松江警察署生活安全課生活安全係長 岡田 仁 氏 松江市消防本部警防課防救助係長 尾添 年紀 氏 参加者 35 名

ウ) 専門委員会の開催

7 月 14 日 正副専門委員長会

8 月 20 日 第 1 回専門委員会

エ) 松江市民余芸大会への参加・チケット販売、美化活動、だんだん夏踊りへの協力、赤い羽根共同募金街頭募金活動への協力、水燈路の行燈の審査・表彰授与、ボランティアフェスティバルへの協力等

オ) 機関紙の発行

NO.35 R2.1 月発行

⑤松江市社会福祉法人連絡会との連携、活動支援

ア) 幹事会の開催

9 月 24 日 第 1 回幹事会

11 月 5 日 第 2 回幹事会

12 月 26 日 第 3 回幹事会

2 月 6 日 第 4 回幹事会

イ) 総会の開催

日 時 令和元年 11 月 7 日 (日)

会 場 く に び き メ ッ セ

ウ) 市民公開シンポジウムの開催

事業名等	内 容
市民公開 シンポジウム	<p>●日時 令和2年2月21日(金)</p> <p>会場 松江市総合福祉センター 4階大ホール</p> <p>内容</p> <p>・基調講演</p> <p>演題:「いのちに意味がある」 ～私たちは何を大切にしてきたのか～</p> <p>講師: NPO法人抱樸理事長 奥田知志 氏</p> <p>・シンポジウム</p> <p>実践報告者 (福) 島根ライトハウス総務課長 藤原和子 氏 (福) みずうみ公益事業部長 岩本千代 氏</p> <p>コーディネーター 島根大学人間科学部准教授 加川充浩 氏</p> <p>コメンテーター NPO法人抱樸理事長 奥田知志 氏</p> <p>参加者数 152名</p>

3-(4) 福祉教育の推進

福祉教育についての相談や情報提供し、講師派遣の調整を行いました。

ア) 福祉学習推進の支援(講師派遣数)

区 分	R1年度	H30年度	H29年度
学校関係	15回	20回	22回

イ) 介護の基礎的講座普及モデル事業の推進

◆関係者打合せ会 4回

◆学校への説明

◆事業説明会の開催

開催日 令和元年6月25日(火)

対象者 介護コンシェルジュ登録者

参加者 9施設、37名

◆コア会議 2回

◆実施状況

	R1年度
実施校数	3校
人数	452名
実施回数	11回

◆コンシェルジュ打合せ会 2回

3-(5) ボランティア活動の広報・啓発・広聴活動の強化

ホームページの充実や情報誌の発行及びボランティアの相談受入の充実につとめました。

- ◆ボランティアセンター情報紙「つなぐ」年3回（6月・10月・3月）発行しました。
- ◆ホームページやフェイスブックを通じ情報提供に努めました。
- ◆収集ボランティア活動支援（古切手、プルタブ、バルマーク等受付）

区 分	R1年度	H30年度	H29年度
受付件数	70件	82件	67件

◆第15回松江市ボランティアフェスティバルの開催

下記により開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期となりました。

事業名等	内 容
第15回 松江市ボランティ アフェスティバル	<ul style="list-style-type: none"> ●テーマ 広がれボランティアの輪 ～ひとりはおみんなの為に みんなはひとりの為に～ 日 時 令和元年3月1日(日)10:00～15:30 会 場 松江市総合福祉センター全館 主 催 第15回松江市ボランティアフェスティバル実行委員会 構成団体 松江市ボランティア連絡協議会 企業ボランティア松江ネットワーク会議 松江市社会福祉協議会（松江市ボランティアセンター）

◆雪かきボランティアの募集

冬期の積雪による除雪作業は、一般市民においても負担となっており、特に高齢者世帯や要支援者世帯の日常生活に大きく影響することから、除雪困難な方々の生活支援を目的にボランティア募集を行いました。天候の関係から需要がありませんでした。

登録者数：9名

3-(6) 松江市まめなかポイント事業の実施

市の委託事業として、65歳以上の元気高齢者となごやか寄り合い事業を対象にして、高齢者自身の社会参加活動を通じた介護予防の促進と活躍の場の進展、地域活動・ボランティア活動の推進に取り組みました。

また、事業開始から3年が経過し事業の検証を行い、要綱の改正を行うことで個人登録者の拡大を図るため手続きの簡素化等行いました。

区 分	R1年度	H30年度	H29年度
個人登録者数	93名	123名	96名
団体(なごやか寄り合い)登録数	220団体	222団体	207団体
受入施設登録数	46施設	45施設	37施設

検証委員会の開催 開催日：令和元年11月19日(火)

4. 在宅生活支援事業の推進

4-1) 地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み

①地域包括支援センター事業の推進

【地域包括ケア推進課】

地域包括ケアシステムを推進するために、介護支援専門員の支援を重点的に取り組みました。

高齢者の介護予防・自立支援・重度化予防に向けて、高齢者を支援している介護支援専門員を対象に、包括主催の「松江市個別地域ケア会議 11 回及び評価会議 1 回」、「松江市事例検討会 7 回」「包括公開講座 1 回」「ブロック連絡会 3 回」開催しました。

また、介護支援専門員と地域の見守り活動をされている民生児童委員等と顔がつながったり、なごやか寄り合いや地域のインフォーマルサービスを活用しながら、地域とつながりながら高齢者の支援ができるように、地区単位の「ケアマネと民生児童委員等との情報交換会」を開催しました。

包括のエリアごとに開催されている医療介護等の多職種連携会議の運営や支援を行い、事例検討や地域の課題等について話し合いました。包括エリアごとの医療・介護等の関係者の連携もできてきました。

また、地域ケア会議や高齢者の総合相談等から見えてきた地域共通の課題については、解決に向けて松江市地域ケア推進会議や地区の第 2 層協議体に報告しました。

認知症の支援に関しては、徘徊で行方が分からなくなった高齢者の情報を SOS 見守りネットワークでメール送信を行い、市民への情報提供による見守りにつなげています。しかし、事案の発生から数日経ってから発見されるケースもあります。高齢者の安全を確保し、ご家族の安心を高めるために、社協独自の自主事業として「安心創造事業（GPS 端末貸与）」を実施し、その有効性と運用方法の検証を行いました。

■重点事業

ア) 地域におけるネットワークの構築（包括的・継続的ケア体制の構築）

○地区社協、公民館、自治会、民生児童委員、福祉推進員、住宅供給公社、警察、障がい相談事業所、介護支援専門員等と情報交換会等を開催し連携を図り、早期発見・見守り・支え合いの活動など、地域と協働できる体制づくりを行いました。

○医師会とケアマネ協会との合同研修会や各包括エリアの多職種連携会議の開催支援を行ない、医師とケアマネジャー等の顔の見える関係づくりや、多職種の連携構築を図りました。

○ケアマネジャーと生活支援コーディネーターの情報交換会を企画していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、中止しました。今後の経過を見ながら、次年度の開催することができるよう計画していきます。

○地域包括支援センターの役割・機能について、包括だより・社協だより等を用いて、市民や関係機関への PR を行ないました。

イ) 地域ケア会議の計画的な実施

○松江市個別地域ケア会議に各職能団体から助言者として参加いただき、よりよい支援ができるように検討し介護支援専門員のケアマネジメント力向上を図りました。また、半年後に評価会議を開催し、高齢者の変化や検討事項の経過・効果を確認し協議しました。なお3月開催分については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

○個別地域ケア会議から見えてきた地域課題については、松江市地域ケア推進会議や第2層協議体で報告しました。

○松江市個別地域ケア会議の助言者向けの研修会を開催し、自立支援に向けた効果的な助言ができるように専門職の役割について学びました。

ウ) 高齢者虐待の防止および対応

○「松江市高齢者虐待対応マニュアル」の流れに基づいて、市・介護支援専門員・主治医・サービス事業所等の関係機関と連携して虐待対応を行いました。

○「松江市高齢者虐待の防止と早期発見のてびき」を活用し、高齢者虐待防止について施設・事業所の職員研修で周知をしました。

○毎月の虐待困難事例検討会で県高齢者虐待専門職チーム(社会福祉士)と共に対応を検討しました。

○市民・関係機関へ包括だより、社協だより、ブロック連絡会等を通じて虐待防止の周知を図りました。

オ) 認知症対策支援の取り組み

○徘徊高齢者が増える傾向にあり、令和元年度から2年間、独自社協の事業としてGPS端末機の貸し出しの試行を行い、10名の高齢者に貸し出しました。毎月モニタリングを行い、GPS端末機のメリット・デメリットや適・不適の対象者像が分かってきました。

○認知症初期集中支援チームとの連携し、認知症又はその疑いがある方が医療や介護サービスにつなげることができました。

◆相談件数

区 分	相談件数		相談実利用者		介護予防ケアマネジメント及び 予防給付管理 プラン数(3月末)		ケアマネジャー 支援	
	R1	H30	R1	H30	R1	H30	R1	H30
中央地域包括	2,880	2,707	510	552	558	501	117	119
松北地域包括	2,478	2,294	442	356	447	327	80	83
松東地域包括	2,755	3,206	476	505	519	445	105	155
湖南地域包括	2,631	2,444	462	472	408	351	50	98
松南第1地域包括	2,980	2,688	579	525	543	487	183	213

松南第2地域包括	1,978	2,159	429	407	335	297	44	109
計	15,702	15,498	2,898	2,817	2,811	2,408	579	777

◆虐待困難事例検討会

事業名等	内 容
虐待困難事例検討会	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 全 11 回 毎月 1 回開催実施 13:30～15:30 会場 松江市総合福祉センター 内容 助言者を招き、包括内におけるスキル向上のための事例検討会 検討事例 14 事例 経過報告事例 12 事例

◆公開講座

事業名等	内 容
公開講座 第 1 回	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 令和 2 年 2 月 18 日(火) 13:30～15:00 内容 ①講演『地域における高齢者の見守り～消費者被害防止～』 講師 全国消費者相談員協会 佐能 八重美様 ②「松江市ゴミ袋料金(R2.4 改定)について」市リサイクル都市推進課 ③「高齢者あんしんサポート事業について」市社協生活支援課 参加者数 70 人

◆ブロック連絡会

事業名等	内 容
ブロック連絡会 第 1 回	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 平成 31 年 4 月 17 日(火) 13:30～16:00 内容 松江市、保健所、地域包括支援センター等から情報提供 参加者数 203 人
第 2 回	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 令和元年 9 月 20 日(金) 13:30～15:30 内容 3 年未満のケアマネ研修 「自立支援の視点でのアセスメント」 参加者数 32 人
第 3 回	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 令和元年 10 月 25 日(金) 13:30～15:00 内容 ①「松江市の高齢者虐待の状況について」市健康政策課 ②「高齢者虐待とは」包括職員 ③「高齢者虐待について～事例対応紹介～」包括職員 参加者数 130 人

◆松江市事例検討会

事業名等	内 容
松江市事例検討会	
第1回	●日時 令和元年5月17日(金) 13:30～15:45 参加者数 34人 (事例検討の勉強会)
第2回	●日時 令和元年7月12日(金) 13:30～15:30 参加者数 52人 (橋南エリア4事例)
第3回	●日時 令和元年7月23日(火) 13:30～15:30 参加者数 46人 (橋北エリア4事例)
第4回	●日時 令和元年11月15日(金) 13:30～15:30 参加者数 35人 (橋南エリア4事例)
第5回	●日時 令和元年11月19日(火) 13:30～15:30 参加者数 49人 (橋北エリア4事例)
第6回	●日時 令和2年1月17日(金) 13:30～15:30 参加者数 30人 (橋南エリア4事例)
第7回	●日時 令和2年1月23日(木) 13:30～15:30 参加者数 55人 (橋北エリア4事例)

◆地域ケア会議

事業名等	内 容
各包括での地域ケア会議	個別ケースの情報共有や対応等、地域課題について地域の関係者を含めて開催した。 個別課題の検討 開催回数 44回 参加者数 延263人 地域課題の検討 開催回数 12回 参加者数 延118人
松江市個別地域ケア会議	多職種が協働で個別ケースの支援内容を検討することで、高齢者の課題解決や、介護支援専門員の自立支援に資するケアマネジメントの実践力の向上を図った。 会 場 松江市総合福祉センター 参加者 介護支援専門員(事例提出者) 助言者 薬剤師、訪問看護師、リハビリ専門職(PT OT ST いずれか1名)、歯科衛生士、管理栄養士、臨床心理士、主任ケアマネ、保健師、社会福祉士、社協CSW(兼務、生活支援コーディネーター)
第1回	●日時 令和元年5月16日(木) 13:30～16:30 検討事例 6事例

第2回	●日時 令和元年5月23日(木) 13:30~16:30 検討事例 6事例
第3回	●日時 令和元年6月13日(木) 13:30~16:30 検討事例 6事例
第4回	●日時 令和元年6月20日(木) 13:30~16:30 検討事例 6事例
第5回	●日時 令和元年8月22日(木) 13:30~16:30 検討事例 6事例
第6回	●日時 令和元年8月29日(木) 13:30~16:30 検討事例 6事例
第7回	●日時 令和元年10月17日(木) 13:30~16:30 検討事例 6事例
第8回	●日時 令和元年12月12日(木) 13:30~16:30 検討事例 6事例
第9回	●日時 令和元年12月19日(木) 13:30~16:30 検討事例 6事例
第10回	●日時 令和2年2月14日(木) 13:30~16:30 検討事例 6事例
第11回	●日時 令和2年2月21日(木) 13:30~16:30 検討事例 6事例
第12回	●3月開催予定であった個別地域ケア会議は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。
評価会議	
第1回	●日時 令和元年10月24日(木) 13:30~16:30 評価会議(H30.10~H31.2までの事例) 12事例
第2回	●3月開催予定であった評価会議(R元.5~R元.10までの35事例)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。なお、評価会議で行う予定だったR元.5~R元.10までの35事例は、書面で評価を行った。
助言者向け研修会	●日時 令和元年12月18日(水) 19:00~20:50 内容 ①「地域会議の意義・目的について」市健康政策課長 高橋浩三様 ②「介護予防と自立支援とは」県アドバイザー 嘉田将典様 ③「地域ケア会議の概要と専門職の役割とは」 県リハビリテーション協会松江支部 濱田龍様 参加者 59名

②在宅医療・介護連携支援センター事業の推進

【地域包括ケア推進課】

平成 29 年 4 月に在宅医療・介護連携支援センターは、医療・介護の両方を必要とする高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために必要な支援体制の構築に向けて設置されました。

高齢者の方は入退院を繰り返したり、一時期施設入所をされたりと、療養場所の変化はありますが、どの場所で療養をされても自分らしい生活を続けていくためには、切れ目のない医療と介護の連携の体制が必要となります。

そこで、入退院支援に関わる医療・介護の関係者に、連携時の課題を確認し、それに対する対応策を検討し、「松江市入退院連携ガイドライン」を作成、周知しました。

「将来の医療・ケアについて、本人を人として尊重した意思決定の実現を支援するプロセス」＝アドバンス・ケア・プランニングの普及をめざして「まっえアドバンス・ケア・プランニング普及・啓発推進協議会」が立ち上がり、事務局として関わりました。

◆地域の医療・介護資源の把握

○市内の訪問看護ステーションの特徴や、有料老人ホームの医療的ケアなどの対応状況等の情報収集を行い、一覧を作成し、社協ホームページに掲載しました。

◆医療・介護関係者の情報共有の支援

○救急時の対応について、松江市消防本部警防課、訪問看護ステーション所長会、松江地域介護支援専門員協会、地域包括支援センターで意見交換を行い、Q&Aを作成し、周知しました。

○医療・介護関係者に周知したい情報について広報誌「RENKEI」を年 4 回発行しました。

◆在宅医療・介護連携に関する相談支援

○医療・介護関係者等からの、在宅療養や資源、連携に関する相談を受け付け、医療介護関係者が必要な資源の周知、相談から医療介護に関する課題の把握を行いました。

○医療介護関係者の方からの相談をお受けしながら、地域の実情に合わせた在宅医療と介護の連携体制が構築できるよう、情報提供や連携コーディネートに取り組みました。

◆相談内容

内容	支援 在宅 療養	連携 医師との	連携 介護との	退院 病院の 支援 入	所 施設 支援 の 入	資源 医療・ 介護	その他	合計
R1	16	10	5	9	14	39	31	124
H30	38	18	23	12	6	55	44	196

◆相談経路

相談者	ケアマネ	医師	病院	訪問看護	歯科	薬剤師	PT OT ST	サービス 事業所	行政	市民	包括	その他	合計
R1	24	2	23	3	0	5	0	0	8	4	27	15	111
H30	19	11	39	8	0	9	0	0	14	5	27	15	147

◆医療・介護関係者の研修

- 市内各団体が開催する研修についてホームページ上に「研修カレンダー」を作成し、月2回更新し、周知しました。
- 医療系のサービス導入、医師とケアマネジャーの連携上の課題について、「医師とケアマネジャーの研修会」で取り上げていただくよう提案し、開催内容に反映された。
- 関係団体からの研修企画や開催方法、周知方法についての相談対応をしました。

◆地域住民への普及啓発

- 地域住民に対する在宅医療・介護市民講座を**公民館**で開催し、地域の方や専門職の協力を得ながら寸劇を通して終末期ケアの現状などについて周知しました。

(6会場 参加者延べ551名 協力者138名)

- 全市対象市民講座 ～考えてみませんか？どこで、どう生き、どう最期をむかえたい～
日時：11月30日（人生会議の日）

講師：野の花診療所 徳永 進先生 「一切なりゆき派とACP派」

寸劇：まっえアドバンス・ケア・プランニング普及・啓発協議会構成員や各関係団体の協力による寸劇「家で暮らそう」

(参加者180名 協力者33名)

- 終括支援ノートの活用講座を2回開催しました。

③生活支援コーディネーター設置事業

【地域福祉課】

令和元年度は生活支援コーディネーターを各包括支援センター（サテライトを除く）内に配置して、住民により身近な拠点で活動を行いました。

ア) 地域の生活課題の把握から新たな取組みの展開

これまでの経年的な活動から見えてきた地域課題の解決策として《地域 de こと興しシート》という共通したツールを活用して課題解決を図りました。その中では高等学校や介護保険施設など既存の社会資源との連携や空き店舗を活用した新たな社会資源との連携など行い居場所づくりや交流事業を行いました。(P16, P17に活動内容掲載)

また地区社協事業を始め、なごやか寄り合いなどに出かけ、実態の把握に努めました。

イ) ネットワークづくり

地域の生活課題の検討や住民の主体的な取組みによる解決を図るため、平成30年度末

に市内 29 地区を単位に「第 2 層協議体」を立ち上げました。第 5 次地区地域福祉活動計画策定の会議を第 2 層協議体に充てている地区が多く、令和元年度は第 5 次地区地域福祉活動計画の進捗管理会議に参加しました。

ウ) 住民主体の生活支援サービスの開発

高齢者をはじめとする地域住民の「ちょっとした困りごと」を解決するための、住民主体の生活支援サービスや居場所づくり等の立ち上げを支援しました。令和元年度は、総合事業訪問型サービスは 3 団体が実施しました。通所型サービスは新規立ち上げの 9 団体を含む 20 団体が実施しました。

エ) サービスの担い手確保

11 月 26 日に令和元年度くらし安心サポートセミナーを実施し、9 名が受講され地域の支え合い活動の担い手として登録されました。平成 28 年度から通算し、受講者は 142 名、登録者は 106 名となりました、

訪問型サービス A (基準緩和型サービス) へ従事していただくことを目的に、令和元年 10 月 31 日・11 月 1 日・5 日に令和元年度松江市総合事業訪問型サービス従事者養成研修を開催しました。4 名が受講をされ、松江市より 4 名に修了証が授与されました。

◆生活支援コーディネーターの動き

活動の項目	件数
住民型サービスへの支援	62 件
協議体の立ち上げ・運営	97 件
人材育成	85 件
啓発	137 件

④認知症地域支援推進事業

【地域福祉課】【地域包括ケア推進課】

ア) 予防・早期発見

○お笑い認知症予防教室の開催

地域住民に認知症に対しての理解をしていただくため寸劇を通して啓発しました。

実施日	会 場	内 容	参加者数
6 月 6 日	さんさんカフェ	カフェ利用者の勉強会	概ね 15 人
9 月 7 日	東出雲揖屋公民館	東出雲いきいきフェスティバル	概ね 100 人
9 月 20 日	中竹矢公会堂	中竹矢なごやか寄り合い	概ね 30 人
11 月 1 日	城北公民館	なごやか寄り合い (北堀 4 区福祉ネット)	概ね 20 人
11 月 21 日	雑賀公民館	ほっとさいか研修会	概ね 40 人

イ) 支援者づくり・まちづくり

○徘徊 SOS ネットワークの強化

認知症見守りネットワーク運営の強化

認知症見守りネットワークの協力者募集を機会あるごとに行い登録を促しました。

9月17日のアルツハイマーデーに認知症家族会松江支部と協力し、チラシ等の配布を松江駅並びにイオン松江店にて実施しました。

◆認知症見守りネットワーク

年度	登録者数(利用者)	登録者数(協力者)	協力事業所数	稼働回数
R1年度	155人	1,146人	39事業所	9回
H29年度	105人	1,085人	27事業所	9回
H28年度	95人	928人	25事業所	4回

○男性介護者フリースペース

仕事と介護の両立や慣れない家事などで苦勞が多く、地域で孤立しがちな男性介護者の支援として、平成21年度から男性介護者の集いを開催しています。気軽に立ち寄り、日頃の悩みや介護について男性介護者同士で語り合える「フリースペース」の形式で毎月第3金曜日に松江市総合福祉センターで開催しました。

◆男性介護者の集い参加状況

開催月	参加人数	ボランティア	相談対応
4月	2人	傾聴ボランティア 「まつえ一期の会」	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター ・地域福祉係
5月	4人		
6月	4人		
7月	2人		
8月	1人		
9月	2人		
10月	4人		
11月	4人		
12月	4人		
1月	4人		
2月	2人		
3月	開催なし		
計	33人		

※3月については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

○家族介護者交流会

在宅で家族の介護をしている家族介護者が相互に交流や講話などを通じて元気回復を図ることを目的に、以下の内容で実施しました。

	日時	会場	参加者	内容
第1期	8月28日(水) 10:30～12:30	松江市 総合福祉センター	26名	映画上映《ぼけますから、よろしくお願いします。》

※第2期は令和2年2月28日(金)に「家族のための終活支援」をテーマに開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

4-(2) 総合相談

【生活支援課】

総合相談機能の強化を図るため、各課横断した困難事例に対応するため「対策会議」を開催しました。また、さらに専門的助言が必要になる場合、外部からの専門職に参加いただき「困難事例検討会」を開催しました。

◆会議開催状況

事業名等	回数	内容
対策会議	12回	複合課題困難事例の支援策検討、財産等一時預かりの検討
困難事例検討会	2回	専門的な助言を必要とするケースについて外部のアドバイザーを招いての検討

4-(3) 社協内相談事業連絡会議

【生活支援課】

相談ケースの情報共有と連携方法や支援についての検証を行うため、社協内各課の相談事業連絡会を開催しました。

事業名等	回数	内容
相談事業連絡会	11回	各課相談事業の情報共有と連携方法や支援についての検証

4-(4) 各種貸付相談

【生活支援課】

島根県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金制度の受付相談と自主事業として、低所得世帯に対し生活に緊急的に必要な一定の資金を貸し付ける民生融金貸付事業を実施し、世帯の自立を図ることを目的として相談、貸付を行いました。

◆相談件数

年度	相談件数
R1年度	2,195件
H30年度	1,238件
H29年度	1,008件

◆月別相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	122	43	37	125	79	116	206	328	230	303	247	359

①生活福祉資金の貸付

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯を中心に貸付及び援助指導を民生児童委員の協力を得て行いました。また、母子福祉資金等、他制度との連携も図り適切な運営に努めました。

- 福祉資金（生業、技能習得、住宅、福祉用具、障がい者自動車、療養、介護、災害援護その他福祉費、緊急小口）
- 教育支援資金
- 不動産担保型生活資金
- 総合支援資金

◆生活福祉資金貸付実績

年度	貸付件数	貸付金額
R1年度	62件	56,754,000円
H30年度	41件	33,273,000円
H29年度	47件	44,656,000円

◆生活福祉資金 資金内訳（62件）

- 生業費（2件） ■技能習得経費（5件） ■障がい者自動車購入（2件） ■療養費（1件）
- 一時的必要経費（9件） ■緊急小口（2件） ■教育支援費（16件） ■就学支度費（11件）
- 総合支援資金（1件） ■特例小口（13件）

②民生融金の貸付

生活困窮者に対する緊急の小口融資生活資金として、民生児童委員の協力により1件5万円以内で貸付支援を行いました。また、貸付対象者の見直しを行いました。

◆民生融金貸付実績

年度	貸付件数	貸付金額
R1年度	28件	290,000円
H30年度	69件	960,000円
H29年度	124件	1,916,600円

4-(5) 福祉サービス

①福祉サービスの実施

【地域福祉課】

ア) 移送サービスの実施

本所と湖南事業所（宍道健康センター）の 2 ヶ所を拠点に市町村有償運送事業を松江市から受託し、移送サービス事業を実施しました。

高齢者や障がい者の自立と社会参加の促進を図るとともに、市民相互の連帯と互助精神に基づく福祉のまちづくりを推進することを目的とし、医療機関等の通院を主として、福祉車輛を利用した送迎サービスを行いました。

◆移送（たんぽぽ）サービス事業の状況

	本所	湖南事業所	計
福祉車輛	2 台	2 台	4 台
実利用会員数	18 人	14 人	22 人
登録者数	53 人	27 人	80 人
登録運転協力員数	12 人	0 人	12 人
専属運転士(社協職員)	0 人	3 人	3 人

◆移送（たんぽぽ）サービス事業実績（本所）

	R1 年度	H30 年度	H29 年度
通院・入退院	194 件	206 件	168 件
施設利用	1 件	0 件	0 件
行事・会議等の参加	1 件	0 件	1 件
行政機関等の訪問	0 件	2 件	11 件
買い物	0 件	0 件	0 件
その他利用	0 件	0 件	0 件
計	196 件	196 件	180 件

◆移送（たんぽぽ）サービス事業実績（湖南事業所）

	R1 年度	H30 年度	H29 年度
通院・入退院	83 件	76 件	91 件
その他利用	0 件	0 件	0 件
計	83 件	76 件	91 件

◆運転ボランティアの養成

しまね移送サービス支援センターが主催する福祉有償運転者及びびседン等運転者講習会にボランティア希望者 3 名が参加し修了しました。

日時 令和 2 年 3 月 18 日（水）

イ) 住民参加型在宅福祉サービス事業の推進（ゆうあいヘルプサービス）

高齢化の進行や社会の変化に伴い、多様化する福祉ニーズに対応するため、住民主体による住民同士の助け合いを基本とした住民参加型ヘルプサービスを展開することにより、在宅生活の安定と福祉の増進を図ることを目的に事業を実施しました。

◆ゆうあいヘルプサービス事業の状況

年度	R1 年度	H30 年度	H29 年度
利用会員	131 人	134 人	133 人
協力会員	46 人	60 人	61 人

◆ゆうあいヘルプサービス実績（1 時間単位のサービス時間を設定）

項目	R1 年度	H30 年度	H29 年度
利用回数（家事）	1,994 回	2,021 回	2,405 回
利用時間（家事）	2,994 時間	3,212 時間	3,810 時間
利用回数（介護）	521 回	682 回	1,040 回
利用時間（介護）	1,055 時間	1,318 時間	1,820 時間
利用回数（訪問 B）	255 回	0 回	0 回
利用時間（訪問 B）	248 時間	0 時間	0 時間
利用回数（計）	2,770 回	2,703 回	3,445 回
利用時間（計）	4,297 時間	4,530 時間	5,630 時間

5. 公的福祉サービス受託事業の推進

5-1) なごやか寄り合い事業

【地域福祉課】

長年住み慣れた地域での生活を継続できることを目的とした「なごやか寄り合い事業」の立ち上げと円滑な継続運営に向けた取り組みに対して支援を行いました。

◆なごやか寄り合い事業実施状況

年度	実施会場数	実施回数	参加者延人数
R1年度	372カ所	2,943回	37,842人
H30年度	368カ所	3,149回	41,970人
H29年度	373カ所	3,177回	42,624人

◆公民館区ごとの実施状況

地区名	会場数	回数	地区名	会場数	回数
大庭	18	108	持田	12	85
古志原	14	79	本庄	13	79
忌部	18	87	朝酌	9	29
竹矢	11	63	古江	5	39
津田	11	85	秋鹿	12	56
乃木	12	92	大野	8	45
雑賀	8	56	鹿島	17	265
朝日	9	84	島根	15	181
白潟	9	66	美保関	23	202
城西	8	32	八雲	19	158
城東	4	21	玉湯	19	116
城北	4	67	宍道	21	189
法吉	11	73	八束	7	43
生馬	11	96	東出雲	27	295
川津	17	152	合計	371	2,942

ア) 継続支援、立ち上げ支援

継続会場からの相談対応、新規会場の立ち上げ支援およびボランティア行事用保険手続き・物品支給の対応をしました。また、福祉推進員・民生児童委員・自治会等において、本事業に関する相談対応・情報提供を随時行いました。

◆継続支援、立ち上げ支援の状況

立ち上げ相談・説明会	29地区 (39回)
立ち上げボランティア行事用保険	13会場 75件 (約1,866人分)
物品提供	15会場 104件

イ)「なごやか寄り合い事業」ボランティアスタッフ研修会の開催

◆ブロック研修会の開催

事業名等	内 容
ブロック研修会 橋北エリア	●日時 令和元年 9 月 24 日 (金) 10 : 00~12:00 会場 松江市総合福祉センター 参加者 約 58 人
橋南エリア	●日時 令和元年 9 月 25 日 (木) 10 : 00~12:00 会場 松江市総合福祉センター 参加者 約 65 人
	●内容 両日とも共通 ① 介護保険課：通所 B について制度説明 ② 活動報告 東出雲町 花水木・和顔 (わげん) クラブ 代表：加藤 義文氏 ③ グループディスカッション

◆全体研修会の開催

3 月 4 日に開催予定でしたが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

5-(2)まつえ障がい者サポートステーション絆の運営

【生活支援課】

障がい(児)者相談員が障がい(児)者の生活上の問題の相談に応じ、情報提供・助言・その他障がい福祉サービスの利用支援を行うとともに、関係機関との連携を図り、障がい児(者)の地域生活に関わる相談を行いました。

その運営については、松江市との合同事務局として推進しました。

◆相談実績

年度	相談者実人数 (者) / (児)	相談延件数 (者) / (児)
R1 年度	214 人 / 73 人	829 件 / 100 件
H30 年度	219 人 / 72 人	635 件 / 113 件
H29 年度	180 人 / 64 人	620 件 / 103 件

○障がい者サポートステーション「絆」運営

運営・事務局会議 (社会福祉審議会に向けての事前協議) 計 12 回実施

○エスコ・ウィッシュ・絆との定例会 (エスコ・ウィッシュとの連携についてサポート絆の事務局との協議) 計 6 回実施

○ぷらす・絆との定例会 (ぷらすとの連携についてサポート絆の事務局との協議) 計 6 回実施

○事業所連絡会 (サポート絆の構成事業所との協議及び事例検討) 計 11 回実施

○絆研修関係

- ・アセスメント力向上事例検討会 計 4 回実施
- ・関係団体、学校等への出前講座 計 5 回実施
- ・公開講座「精神障がい当事者との付き合い方」 計 1 回実施

◆知的障がいをもつ働く青年たちの仲間づくりと、余暇活動の支援、それを支えるボランティアの組織づくり

項目	年間実施回数	参加者延人数	ボランティア延人数
クッキングクラブ	7 回	75 人	47 人

○コスモスの会（障がい者余暇支援団体）との連絡会

計 11 回実施

◆公民館を拠点とする障がい者の活動支援

項目	年間実施回数	参加者延人数	ボランティア延人数
湖北だんごの会	22 回	132 名	110 名

5-(3) 生活困窮者自立相談支援事業（松江市暮らし相談支援センター）

【生活支援課】

生活困窮者等の生活相談に応じ、必要な情報提供や相談支援を行うとともに、法テラスやハローワーク等の関係機関との連携を図りながら、自立相談支援業務を行いました。

◆松江市暮らし相談支援センター相談件数

年度	新規相談者実人数
R1 年度	424 人
H30 年度	366 人
H29 年度	223 人

◆月別相談件数

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
件数	28	23	44	37	39	41	33	34	29	39	31	46

◆主な相談内容と支援内容（重複あり）

相談内容	人数
病気・健康	86人
住まい	127人
収入・生活費	225人
家賃やローン	63人
税金・公共料金支払	46人
債務	63人
仕事探し・就職	77人
仕事上の不安・トラブル	9人
地域との関係	1人
家族との関係	34人
子育てのこと	1人
介護のこと	12人
引きこもり・不登校	11人
DV・虐待	5人
食べるものがない	44人
その他	119人

支援内容		人数
制度利用	総合支援資金	1人
	住宅確保給付金	4人
	一時生活支援事業	16人
	家計相談支援事業	31人
	就労準備支援事業	22人
	入居債務保証	33人
	生活福祉資金	2人
	民生融金	5人
	フードバンク	133人
	就労支援促進事業	21人
	他機関へ 引継ぎ・同行	ハローワーク同行・連絡調整
法テラス		19人
サポート絆		7人
包括支援センター		5人
市窓口		22人

①自立相談支援事業（松江市委託事業）

生活困窮者の就労その他の自立に関する相談支援で、自立支援計画（プラン作成）を作成し、関係機関と連絡を取りながら包括的に実施しました。

②一時生活支援事業（松江市委託事業）

緊急に衣食住の確保が必要な方に、緊急一時的な宿泊場所の調整や食糧支援等を行い、就労や住まい探しなどの相談支援を行いました。

③住居確保給付金

離職により住居を失い生活に困っている方、または住居を失うおそれの高い方に、一定期間の松江市からの家賃支給申請を行い、安心して就職活動ができるように支援を行いました。

④家計改善支援事業（松江市委託事業）

家計の視点から必要な情報提供などを行うとともに、相談者自身が家計を管理できる力を高める支援や家計に関する課題を解決するための様々な機関につなぐなどの支援を行いました。

⑤就労準備支援事業（松江市委託事業）

就職活動や社会との関わりに不安がある方などを対象に就労に向けた個別の就労準備支援や就労準備講座の開催を行いました。

⑥入居債務保証制度

家賃等について継続的に支払いができる方で、賃貸住宅に入居する際の保証人がいないために

住居の確保ができない方を対象に社会福祉協議会が滞納家賃等を保証し、住まいの確保を支援しました。

⑦フードバンク事業

くらし相談支援センターでの相談者をはじめ、社協貸付相談、地域包括支援センター、市福祉事務所などからの相談に応じて、緊急的な対応としてフードを提供しました。

◆提供者数

	実利用者	延べ利用者
提供数	133名	317名

◆寄付件数

家庭で眠っている食品を寄贈いただき、生活に困窮している方や福祉施設、団体に無償で提供するボランティア活動です。今年度もインスタント食品やレトルト食品、缶詰などの保存食品等多数のご寄付がありました。

寄付者数（個人・団体）66件 品数 6,139品目

◆ひとり一品運動

フードバンク事業の啓発活動として、令和元年12月2日（月）～令和元年12月6日（金）まで「ひとり一品運動」を実施し、多くの食品や日常生活用品等を寄贈いただきました。

⑧「助っ人弁護士制度」（法テラス島根との連携）

法テラス島根と連携して、法テラススタッフ弁護士による情報提供や契約弁護士による法律相談、くらし相談支援センター職員との事例検討等を行い、司法と福祉の連携を図りました。

◆助っ人弁護士制度の実績

年度	方法	件数
R1年度	面談での情報提供	51件
	ケース検討等	46件

5-(4) 高齢者あんしんサポート事業

【生活支援課】

昨年度「身寄りがいない人への支援に関するアンケート」を実施しました。身寄りのない方が様々な不安を抱えている実態が明らかになりました。新たに身寄りのない高齢者を支援する、「高齢者あんしんサポート事業」を令和2年1月1日から実施しました。

◆相談ケースについて

相談件数	54件
内継続相談件数	21件

◆事業説明（出張講座等）

内容	期日
社協職員向け事業説明	1月8日、9日、10日、14日
公明党市議会議員	1月29日
美保関公民館	2月2日
包括公開講座	2月18日
民協常務会	2月25日
八束公民館	2月26日
大庭地区民協	2月29日
津田地区福祉	3月1日
白瀉地区民協	3月3日

6. 介護保険関係事業の推進

高齢者が介護を必要とする状態になっても、住み慣れた地域で人としての尊厳を保って生活できるよう、またできる限り在宅において自分の力で生活できるよう自立を支援するため、本会で運営する4つの介護センターにおいて、利用者ニーズを反映できるサービスが提供できるよう基盤整備に努め、介護や予防援助を必要とする高齢者の在宅生活を支援しました。

6-(1) 松江社協介護センターの経営

【総務課：松北事業所】

①居宅介護支援事業

居宅介護支援事業者として松江社協介護センターにおいて主治医、地域包括支援センター、サービス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプラン作成に努めました。

(要支援者に対するケアプラン作成については地域包括支援センターより受託)

◆松江社協居宅介護支援事業所職員体制

年度	職員数
R1年度	2人
H30年度	2人
H29年度	2人

◆松江社協介護支援事業ケアプラン作成数

	作成人数	総 合	要 支 援		要 介 護					認 定 待 ち	相 談 延 人 数	訪 問 延 人 数
			1	2	1	2	3	4	5			
R1年度	750	21	69	39	310	206	81	23	1	1	7,044	1,774
H30年度	787	31	34	60	309	198	89	48	18	2	6,657	1,655
H29年度	916	18	61	67	336	249	106	65	14	0	6,555	2,009

②訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業

訪問介護事業者及び介護予防訪問介護事業者として松江社協介護センターにおいて、訪問介護員(ホームヘルパー)11名(嘱託4名、パート7名)体制により、身体上または精神上の障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し、入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助、生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

◆松江社協訪問介護及び介護予防訪問介護体制

年度	サービス提供責任者	常勤ヘルパー	パートヘルパー
R1年度	2人	2人	7人
H30年度	2人	2人	7人
H29年度	2人	2人	7人

◆松江社協訪問介護及び介護予防訪問介護派遣実績 (人)

年度	総合	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
R1年度	50	49	78	184	132	48	20	5	566
H30年度	37	63	91	224	124	39	13	0	591
H29年度	15	84	111	106	98	39	19	33	490

6-(2) 美保関介護センターの経営

【総務課：松東事業所】

①居宅介護支援事業

居宅介護支援事業者として美保関介護センターにおいて主治医、地域包括支援センター、サービス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプラン作成に努めました。(要支援者に対するケアプラン作成については地域包括支援センターより受託)

◆美保関居宅介護支援事業所体制

年度	職員数
R1年度	2人
H30年度	2人
H29年度	2人

◆美保関介護支援事業ケアプラン作成数

	作成人数	総合	要支援		要介護					認定待ち	相談延人数	訪問延人数
			1	2	1	2	3	4	5			
R1年度	859	52	131	85	290	149	92	57	3	0	3,264	1,042
H30年度	831	30	82	54	388	142	91	29	15	0	3485	1,276
H29年度	852	2	40	65	385	197	110	34	19	0	4030	1,382

②訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業

訪問介護事業者及び介護予防訪問介護事業者として美保関介護センターにおいて、八束町、美保関町を対象に訪問介護員(ホームヘルパー)10名(正規1名、嘱託2名、パート6名)体制

により、身体上または精神上の障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し、入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助、生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

◆美保関訪問介護及び介護予防訪問介護体制

年度	サービス提供責任者	常勤ヘルパー	パートヘルパー
R1年度	2人	1人	6人
H30年度	2人	1人	7人
H29年度	2人	0人	8人

◆美保関訪問介護及び介護予防訪問介護派遣実績 (人)

年度	総合	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
R1年度	32	112	218	251	28	32	34	14	721
H30年度	19	104	206	242	56	37	26	15	705
H29年度	1	108	213	222	66	52	13	13	688

③通所介護事業及び介護予防通所介護事業

通所介護事業及び介護予防通所介護事業所を「香梅の里」で実施しました。要介護又は要支援の状態の利用者に対し、その有する能力に応じた自立した日常生活を営むことのできるよう、必要な日常生活上の世話やレクリエーションをおこなうことにより、利用者の孤立感の解消及び心身の機能維持、並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図りました。

◆美保関通所介護及び介護予防通所介護体制 (兼務有)

年度	生活相談員	看護職員(機能訓練)	介護職員
R1年度	3人	3人	9人
H30年度	3人	3人	10人
H29年度	3人	4人	10人

◆美保関通所介護事業

年度	年度末実利用者数	稼働日数	年間延利用者数	年間延入浴利用者数	年間延食事利用者数	一日平均利用者数	3h～4h(人)	4h～5h(人)	5h～6h(人)	6h～7h(人)	7h～8h(人)
R1年度	38	308	5,060	4,798	5,060	16.4	6	7	2	82	4,963
H30年度	34	307	4,395	4,387	4,395	14.3	4	0	30	39	4,322

年 度	年度末実 利用者数	稼働日数	年間延 利用者数	年間延入浴 利用者数	年間延食事 利用者数	一日平均 利用者数	3h～5h(人) 通所介護	5h～7h(人) 通所介護	7h～9h(人) 通所介護
H29年度	39	306	4,558	4,521	4,549	14.8	4	88	4,466

◆美保関介護予防通所介護事業

年 度	年度末実 利用者数	稼働日数	年間延 利用者数	年間延入浴 利用者数	年間延食事 利用者数	一日平均 利用者数	総合事業	介護予防 通所介護 ¹	介護予防 通所介護 ²
R1年度	10	308	488	350	392	1.5	45	269	174
H30年度	6	307	474	469	474	1.5	0	61	413
H29年度	7	306	617	520	617	2.0	0	186	617

6-(3) 松南介護センターの経営

【総務課：松南事業所】

①居宅介護支援事業

居宅介護支援事業者として松南介護センターにおいて主治医、地域包括支援センター、サービス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプランを作成しました。(要支援者に対するケアプラン作成については地域包括支援センターより受託)

◆松南居宅介護支援事業所体制

年度	職員数
R1年度	3人
H30年度	3人
H29年度	3人

◆松南介護支援事業ケアプラン作成数 (人)

	作成人数	総合事業	要支援		要介護					認定待ち	相談延人数	訪問延人数
			1	2	1	2	3	4	5			
R1年度	1,264	97	63	175	455	245	143	66	20	0	8,218	3,052
H30年度	1,249	69	108	100	463	257	126	106	20	1	9,536	3,208
H29年度	1,300	43	126	134	521	234	165	68	9	0	8,445	3,107

②訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業

訪問介護事業者及び介護予防訪問介護事業者として松南介護センターにおいて、訪問介護員（ホームヘルパー）9名（嘱託2名、パート7名）体制により、身体上または精神上の障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し、入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助、生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

◆松南訪問介護及び介護予防訪問介護体制

年度	サービス提供責任者	常勤ヘルパー	パートヘルパー
H1年度	1人	1人	7人
H30年度	1人	1人	7人
H29年度	1人	1人	6人

◆松南訪問介護及び介護予防訪問介護派遣実績 (人)

年度	総合	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
R1年度	22	43	99	162	54	13	23	3	419
H30年度	21	84	80	140	53	8	34	0	420
H29年度	1	53	82	126	68	19	21	0	370

6-(4) 宍道介護センターの経営

【総務課：湖南事業所】

①居宅介護支援事業

宍道居宅介護支援事業者として主治医、地域包括支援センター、サービス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプランを作成しました。（要支援者に対するケアプラン作成については地域包括支援センターより受託）

◆宍道居宅介護支援事業所体制

年度	職員数
H30年度	3人
H29年度	3人
H28年度	3人

◆宍道介護支援事業ケアプラン作成数

(人)

	作成人数	総合事業	要支援		要介護					認定待ち	相談延人数	訪問延人数
			1	2	1	2	3	4	5			
R1年度	1,202	109	68	129	411	226	165	66	28	0	2,151	1,663
H30年度	1,181	114	54	125	422	259	136	58	13	0	2,373	1,792
H29年度	1,181	55	94	120	434	234	168	65	11	0	2,402	1,748

②訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業

訪問介護事業者及び介護予防訪問介護事業者として宍道介護センターにおいて、訪問介護員（ホームヘルパー）12名（嘱託1名、常勤1名、パート10名）体制により、身体上または精神上的の障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し、入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助、生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

◆宍道訪問介護及び介護予防訪問介護体制

年度	サービス提供責任者	常勤ヘルパー	パートヘルパー
R1年度	1人	1人	10人
H30年度	1人	1人	10人
H29年度	1人	1人	11人

◆宍道訪問介護及び介護予防訪問介護派遣実績

(人)

年度	総合	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
R1年度	4	81	88	100	99	31	16	24	443
H30年度	17	77	90	136	78	19	19	29	465
H29年度	17	29	68	169	72	28	23	29	435

6-(5) 介護センターの研修等の推進

【総務課】

①介護支援専門員資質向上事業(ケアマネ更新研修等)

介護支援専門員の資質の確保・向上を図るために、介護支援専門員証の更新制度（5年更新）が設けられており、松江市社協内の介護支援専門員資格者が下記の介護支援専門員研修に参加しました。

◆ケアマネ更新研修等参加状況

年度	専門Ⅰ	専門Ⅱ	主任	主任更新	更新	計
R1年度	2	6	2	3	1	14
H30年度	2	6	3	6	7	24
H29年度	0	5	2	4	12	23

②訪問介護員内部研修

日頃研修機会の少ない訪問介護員の資質向上を図るためグループに分け内部の社協内訪問介護事業所の全体研修を実施しました。

事業名等	内容
訪問介護員 内部研修【第1回】	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 令和元年7月16日(火)、22日(月) 会場 松江市八雲支所アルバホール、松江市総合福祉センター 内容 「介助技術研修」 講師 理学療法士 矢田 修司 氏 参加 51名
内部研修【第2回】	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 令和元年11月18日(月)、19日(火) 会場 松江市総合福祉センター、松江市八雲支所アルバホール 内容 「障がい者虐待について」 講師 松江市障がい者虐待防止センター 参加 41名

③居宅介護支援専門員内部研修

社協内居宅介護支援事業所の情報共有及び資質向上を図るため松江市で開催された下記の研修に全体研修として参加しました。

事業名等	内容
居宅介護支援専門員内部研修【第1回】	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 令和元年7月16日(火) 会場 松江市八雲支所アルバホール 内容 「介助技術研修」 講師 理学療法士 矢田 修司 氏 参加 介護支援専門員 10人

④その他介護職員関係研修への参加

介護職員は、サービスの質や技術の向上のため、多くの研修を受けることが求められており、下記の研修に参加しました。

- ・松江市ケアマネジャー研修会
- ・松江市個別地域ケア会議助言者研修会
- ・包括支援センター公開講座
- ・介護食研修会
- ・同行援護従事者養成研修
- ・障がい者ホームヘルパーフォローアップ研修

6-(6) 介護認定訪問調査事業の受託

【総務課】

島根県より事務受託法人として指定を受け、介護保険法に基づく要介護認定のための新規・更新・変更申請者に対する訪問調査事業を松江市より受託し、介護支援専門員の資格を持つ職員が要介護者宅や施設を訪問し認定に必要な項目の聞き取り調査を行いました。

◆介護認定訪問調査事業体制

年度	正規	嘱託	パート
R1 年度	3 人	14 人	5 人
H30 年度	3 人	14 人	6 人
H29 年度	3 人	15 人	5 人

◆調査件数

(件)

年度	在宅	施設	合計
R1 年度	6,299	4,316	10,615
H30 年度	5,707	4,328	10,035
H29 年度	7,013	4,519	11,532

○認定調査員調査内容の精度を上げるなど資質の向上を目的に、下記の研修を行いました。

事業名等	内 容
【松江市主催】 第 1 回介護認定調査員研修会	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 平成 31 年 4 月 17 日 (水) 内容 「認定調査の基本的考え方」 講師 介護保険課 認定係 保健師長 尾添 聡美 氏 参加者数 22 人
第 2 回介護認定調査員研修会	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 令和元年 7 月 26 日 (金) 内容 「二次判定の判断材料について」 講師 介護保険課 認定係 保健師長 尾添 聡美 氏 参加者数 22 人

○松江市に在住する被保険者で、保険者が松江市外の方について(住所地特例など)は市内居宅介護支援事業所が訪問調査業務を受けない現状があり、他市町村から調査を受託し、調査員が要介護者宅や施設を訪問し認定に必要な項目の聞き取り調査を行いました。

◆他市町村から調査を受託件数

年度	件数
R1 年度	10
H30 年度	6
H29 年度	5

7. 障害者総合支援法等障がい者関連事業の推進

障害者総合支援法に基づき、障がいのある方の自己決定を尊重し、自立した生活を営むことができるよう、本会で運営する 4 つの介護センターで居宅介護サービスを提供し、在宅生活での支援を行いました。

また、3 つの介護センターにおいて視覚障がい者の外出援助として同行援護サービスを実施し 1 つの介護センターにおいてその他の障がいがある方の移動支援サービスを実施しました。

7-(1) 障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業

①松江社協障がい者居宅介護事業及び同行援護事業

【総務課：松北事業所】

ア) 障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆業務実績

	派遣回数	実利用者数	ヘルパー数 実働	サービス提供時間	平均利用時間
R 1 年度	968 回	8 人	10 人	881 時間 30 分	55 分
H30 年度	1,184 回	9 人	10 人	1,025 時間 00 分	52 分
H29 年度	1,640 回	10 人	11 人	1,473 時間 15 分	54 分

イ) 障害者自立支援法に基づき視覚障がい者への同行援護を取り扱う同行援護事業所の指定を受け、重度視覚障がい者の外出支援を行い地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆業務実績

	派遣回数	実利用者数	ヘルパー数 実働	サービス提供時間	平均利用時間
R1年度	37回	2人	10人	63時間30分	1時間43分
H30年度	30回	2人	10人	43時間00分	1時間26分
H29年度	38回	2人	10人	73時間30分	1時間56分

②美保関障がい者居宅介護事業及び同行援護事業

【総務課：松東事業所】

ア) 障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆契約実績

	派遣回数	実利用者数	ヘルパー数 実働	サービス提供時間	平均利用時間
R1年度	1,349回	16人	9人	1,243時間00分	55分
H30年度	1,306回	15人	10人	1,091時間00分	55分
H29年度	1,315回	15人	10人	1,097時間00分	50分

イ) 障害者自立支援法に基づき視覚障がい者への同行援護を取り扱う同行援護事業所の指定を受け、重度視覚障がい者の外出支援を行い地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆業務実績

	派遣回数	実利用者数	ヘルパー数 実働	サービス提供時間	平均利用時間
R1年度	37回	2人	10人	63時間30分	1時間43分
H30年度	30回	2人	10人	43時間00分	1時間26分
H29年度	38回	2人	10人	73時間30分	1時間56分

③松南障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業

【総務課：松南事業所】

ア) 障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆契約実績

	派遣回数	実利用者数	ヘルパー数 実働	サービス提供時間	平均利用時間
R1年度	272回	3人	10人	271時間30分	1時間00分
H30年度	292回	4人	10人	284時間00分	58分
H29年度	388回	7人	8人	392時間00分	1時間01分

イ) 障害者自立支援法に基づき視覚障がい者への同行援護を取り扱う同行援護事業所の指定を受け、重度視覚障がい者の外出支援を行い地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。またその他の障がい者の外出支援について松江市地域生活支援事業の事業所指定を受け移動支援事業を行いました。

◆業務実績

	派遣回数	実利用者数	ヘルパー数 実働	サービス提供時間	平均利用時間
R1年度	2回	1人	10人	7時間00分	3時間30分
H30年度	88回	3人	10人	86時間00分	56分
H29年度	44回	2人	8人	50時間30分	1時間09分

④宍道障がい者居宅介護事業

【総務課：湖南事業所】

ア) 障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆契約実績

	派遣回数	実利用者数	ヘルパー数 実働	サービス提供時間	平均利用時間
R1年度	971回	8人	12人	1,025時間45分	1時間03分
H30年度	813回	8人	12人	993時間30分	1時間13分
H29年度	826回	7人	13人	940時間00分	1時間08分

*同行援護を取り扱う同行援護事業所の指定及び松江市地域生活支援事業の事業所指定を受けていない。

8. 児童福祉サービスの推進

8-(1) 児童センター等の受託運営

【松南事業所】

①八雲児童センター運営事業

0歳から18歳までの子どもとその家族がいつでも来館でき、自由に楽しむことができる施設として、児童センター「どんぐり館」の運営を、市からの指定管理者として行いました。

◆利用実績 延べ人数

年度	0～6歳	小学生	中高生	大人	合計
R1年度	1,720人	874人	30人	3,724人	6,348人
H30年度	2,351人	1,232人	19人	4,190人	7,792人
H29年度	3,209人	1,401人	21人	5,248人	9,879人

他の施設等との連携で年間をとおして多様な事業を行いました。

- ▼毎月1回 絵本とあそぼう会、ファミリーサークル、
わいわいサロン（市民生活課との共催）、布のおもちゃ作り
- ▼年1回～2回 どんぐり館まつり、表現ワークショップ、わらリズム、音楽コンサート、
お月見会、陶芸体験、食育講座、リフレッシュ体操、人形劇鑑賞、幼児
救急法等

②八雲児童・子育て事業

子育て中の親が抱える子育て不安を軽減するために、在宅の親とその子どもを対象に、地域での多様な活動を通じて子育てを楽しみ、仲間作りを行うことを目的として、子育てサロン「星キラくらぶ」を実施しました。

事業名等	内容
子育てサロン 「星キラくらぶ」	●回数 41回 会場 児童センター、秋桑すこやか会館、八雲公民館 やくものお家 参加者数 541人(親子)

子育てサロンの活動を支える若いお母さんたちのグループ「星キラママ」は、就労される母親が増えたり、幼稚園児の減少も影響したため、地域の高齢者の方にも参加を呼びかけました。

事業名等	内容
子育てサロン 「星キラママ」	●回数 13回 会場 児童センター 内容 陶芸、豆腐作り、コンサート等 参加者数 380人（地域の高齢者の方々を含む）

8-(2) 子ども食堂の取り組み

【地域福祉課】

経済的な問題や孤食の問題の解消だけでなく、家族以外の地域の人との交流や「食事の場面」を通じて子どもの人格形成に必要な知識や体験を学ぶ場、気軽に安心して立ち寄れる居場所として「まつえこども食堂さいか店」を実施しました。また、こども食堂が住民主体の活動として必要な地域に広がるよう取り組みました。子ども食堂の新規立ち上げ相談が5件あり対応しました。

事業名等	内容
まつえこども食堂 さいか店	回数 11回（毎月1回） 時間 16:00～20:00 会場 洞光寺会館（松江市新町） 食事 カレーライスを中心に提供 利用者 実利用者：こども 35人、大人・保護者 9人 延べ利用者：こども 149人、大人・保護者 39人、ボランティア 63人

8-(3) みんなのいこい食堂

【総務課】

総合福祉センター内にある喫茶いこいを子どもたちや学生に開放し学びの場とするとともに、幼児から高齢者の方すべてを対象としたみんなのいこい食堂を毎月第2木曜日の16時から20時に開催し、1食100円で食事の提供を行い、市民同士の交流の場としました。この事業は社会福祉法人さくらの家と協働し、社会福祉法人の地域貢献事業として実施し、職員もボランティアとして取り組みました。

開催日	利用者数	開催日	利用者数
6月13日	58人	10月10日	98人
7月11日	87人	11月14日	112人
8月8日	111人	12月12日	104人
9月12日	104人	2月13日	68人

9. 福祉施設等管理運営事業の受託

9-(1) 松江市総合福祉センター管理運営事業

【総務課】

市からの指定管理者として管理運営を行い、市民の福祉活動の拠点として多数の利用がありました。また、会館の活性化を考慮し、1階エントランスホールを活用して月1回の「朝市」「みんなのいこい食堂」などを開催し、来館者増を目指しました。「喫茶いこい」もオープン以降、固定客もつき利用者にも好評を得ています。

また、3月頃より新型コロナウイルス感染拡大予防のため貸館の自粛及び閉館を実施し安全な管理に努めました。

◆開館実績：令和元年度 356日 9:00～21:00（日曜 9:00～17:00、祝日 9:00～18:00）

年度	施設利用人員
R1年度	51,820人
H29年度	55,042人
H28年度	56,816人

9-(2) 宍道屋内ゲートボール場管理運営事業

【総務課:湖南事業所】

屋内ゲートボール場「すばく宍道」は、地域の皆様の交流の場、生涯スポーツの拠点として、練習はもとより各種大会や体協支部の交流の場として多数の利用がありました。

◆利用実績

年度	利用件数	時間数	利用人員（延べ）
R1年度	140件	501時間	2,627人
H30年度	173件	639時間	3,169人
H29年度	186件	686時間	3,229人

9-(3) 美保関高齢者生活福祉センター(香梅の里)管理運営事業

【松東事業所】

市からの指定管理者として管理運営を行い、世代間交流など町民の福祉活動の拠点として利用がありました。

◆主な活動事業

事業名	年間回数	備考
せんだんカフェ開催	8回	地元ボランティア活動
美保関地区高齢者クラブ会議	3回	
美保関中学校2年生福祉体験学習	1回	6/26、6/28
敬老会ボランティア受け入れ	1回	9/12～9/13

9-(5) 西ふれあいプラザ管理運営事業

【松東事業所】

西ふれあいプラザを会場に健康からだ元気塾の開催、ボランティア団体による福祉交流の場としてカフェを開催するなど、地域の皆様の交流の場、福祉活動の拠点として利用がありました。

◆主な活動事業

項目	調理室利用者数	和室利用者数	集会室利用者数	合計
R1年度	72人	0人	789人	861人
H30年度	74人	0人	798人	872人
H29年度	76人	0人	944人	1,020人

10. 「地域共生社会の実現に向けた」の地域づくり推進

10-(1) 地域力強化推進事業

【地域福祉課】

住民の身近な圏域において、住民が主体的に地域課題を把握し、解決を試みることができる体制を構築することを支援する為、他人事を「我が事」に変えていくよう働きかけや、地域住民の担い手を創出していく取組みを行いました。

①高台団地ローラー作戦

竹矢地区にある青葉台団地において、自治会とは別に「青葉台すこやかライフを推進する会」を組織化。この団体を主体として青葉台の訪問調査を実施。調査結果については報告書にまとめて全世帯へ配布しました。抽出された地域課題については青葉台すこやかライフを推進する会を中心に今後とも解決に向けてできることから取組みをすすめています。

◆調査世帯数

意向調査実施世帯	233 世帯
訪問拒否世帯	158/233 世帯
訪問受け入れ世帯	75/233 世帯
アンケート回答世帯	50/233 世帯
有効回答数	125/233 世帯

◆訪問調査の実施状況

日 時	訪問世帯数	スタッフ人数
9/18～10/30	75 世帯	50 人 (延)

②参加型買物支援と介護予防の取り組み

近隣に店舗がないなど、買物が困難な状況を改善する取り組みとして、なごやか寄り合いの会場を拠点に市内 17 か所で介護予防体操の指導と移動販売をセットにした取り組みを進めました。

◆実施内容

実施事業所	株式会社 さんびる
市社協の支援	① 移動販売車の燃料費相当額の 1/2 を負担 ② 健康体操インストラクター費用 6,000 円を負担

③巡回相談の実施

地域の課題解決のための仕組みづくりとして、大庭地区社協が実施する「巡回お悩み相談室」をモデル的に地域福祉課、地域包括支援センター、市健康推進課（保健師）と協働し相談対応にあたりました。また、地域福祉課 C S W が地区社協や地区民児協の諸会議へ積極的に参加し、情報収集や把握を行い、個別・地域課題を拾い上げ解決に向け取り組みました。

この様な取り組みは、地域に埋没しがちな困りごとを支援につなげるために、地域住民との協

働による課題解決を進めるための仕掛けにもなっています。住民自身が自らの地域課題を共有し、解決に向けた取り組みを進めていくことができるよう、自治会や民生児童委員、福祉推進員、福祉関係者と共に支援のネットワークの構築を目指し巡回相談を実施しました。

◆お悩み巡回相談室実績

巡回相談区分	相談件数	実施場所等
大庭地区社協「巡回お悩み相談室」	9件	県営八重垣団地 市営宝谷アパート
市社協「ふくしなんでも相談」巡回対応	62件	随時対応

④みんなで考えよう地域共生フォーラム

地域共生社会の実現に向けた国の政策・制度の流れや動向及び様々な対象者を支援している関係機関からの実践報告を行うことで市民や地域・福祉関係者が理解を深める場とする目的にて開催しました。

◆実施内容

事業名等	内容
みんなで考えよう 地域共生フォーラム	<p>●日時 令和元年10月3日(木) 13時30分～16時15分 会場 島根県民会館中ホール 講演 「たすけ上手 たすけられ上手に生きる」 同志社大学大学院・社会研究科教授 上野谷加代子氏 実践報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふくしなんでも相談の実践」 松江市社会福祉協議会 地域福祉課 CSW 中島 大棋 ・「みんなのせかいがひろがった ～朝日町十字路しごとチャレンジ～」 おむらいすの会 宍道 京子氏 ・「在宅での看取りを希望されたケースを振り返る ～あなたはどこで最期をむかえたいですか?～」 株式会社松江にゅーよく めぐる居宅介護支援事業所 ケアマネジャー 森脇あゆみ氏 コーディネーター 島根大学 人間科学部 准教授 加川 充浩氏 <p>参加者 210人</p>

⑤事業推進会議の取り組み

事業推進会議を毎月第1、第3水曜日の月2回開催して各地域包括支援センターエリア（ステーション）の新たな事業企画の立案や事業進捗管理を行いました。各地区で取り組んだ事業企画は以下のとおりです

- ◆中央地域包括支援センターエリア
 - ・スーパー等社会資源と連携した見守りネットワーク
 - ・空き店舗を活用した居場所づくり
- ◆松東地域包括支援センターエリア
 - ・高齢者施設を活用した居場所づくり
- ◆松北地域包括支援センターエリア
 - ・居場所作りと地域の互助活動
- ◆湖南地域包括支援センターエリア
 - ・介護保険施設を活用した地域の居場所作り
 - ・地域と高等学校が協働した居場所作り

- ◆松南第1地域包括支援センターエリア
 - ・民生児童委員・ケアマネジャーとのネットワーク会議
 - ・介護保険施設と協働した買い物支援事業

- ◆松南第2地域包括支援センターエリア
 - ・高台にある団地の全戸ローラー調査の実施及び地区課題に対応した支援の立ち上げ

10-(2) 多機関の協働による包括的支援体制構築事業

【生活支援課】

総合的な相談支援体制を構築するため、相談機関が横断的かつ統合的に協働し、さらに外部機関と連携することで包括的な支援体制の構築を目指す取組みを行いました。

①松江市社会福祉協議会職員の全てが相談を受けとめる体制づくり

ア) ふくしなんでも相談所の開設 0852-22-7830 (ナヤマナシ)

市民の皆様の身近なご相談(悩みごと)をお受けし総合的にサポートしました。

1次相談	202件
2次相談	120件
3次相談	22件

イ) 総合相談調整室でのケース進捗管理

総合相談調整室でのケースの把握と管理を行い、毎月第3水曜日に事務局長、各課長、各係長、各グループリーダーが参加しケースの共有を行う「わが事丸ごと推進会議」を開催し、受けた相談の課題解決に向けた進捗管理を行いました。

ウ) 解決が困難なケースへの対応

市社協内での連携が必要なケースについて、市社協内各課参加による対策会議を開催し、外部の専門的な助言が必要なケースについて困難事例検討会を開催しました。また、専門職、地域住民参加による地域ケア会議を開催しました。

エ) 福祉総合相談システムの活用

システムを導入し、受けた相談の一元管理を行いました。

②受け付けた相談を受けとめ、解決に向けた体制づくり

ア) 入口支援(早期発見)から出口支援(課題整理)へのための体制づくり

昨年度作成した「おせっかいのススメ」の冊子をもとに、社会的孤立の予防や啓発を目的とした研修「おせっかいの輪を広げよう」を企画し、市民生児童委員協議会、福祉推進員等で研修会を行いました。

「おせっかいの輪を広げよう」研修 開催実績 研修受講者数 延べ 376名

会場	期日	参加者
市民児協 地域福祉部会	令和元年9月6日	30名
秋鹿福祉推進員研修	令和元年10月5日	34名
市民児協 児童福祉部会	令和元年10月29日	27名
民協第5ブロック研修会	令和元年10月30日	52名
城西地区民協	令和元年10月30日	20名
城北地区ボランティアフェスティバル	令和元年12月8日	62名

古江地区福祉推進員・民生委員・町内会長合同研修会	令和元年 12 月 15 日	45 名
福祉推進員ブロック研修	令和 2 年 2 月 5 日 (湖南ブロック)	19 名
	2 月 6 日 (松東ブロック)	19 名
	2 月 7 日 (松北ブロック)	26 名
	2 月 12 日 (松南ブロック)	28 名
	2 月 13 日 (中央ブロック)	14 名

イ) 民間企業との連携

松江市を通じて、イオンリテール株式会社、明治安田生命保険相互会社、ソフトバンク株式会社と地域共生社会の実現に向けて連携のための協議ができました。

③関係機関との連携

関係機関との連携を図るため、地域、司法、就労・若者支援、児童福祉・教育、更生保護、保健、障がい者福祉、人権、福祉・ボランティア活動、高齢者福祉等の多分野の関係機関の参加による包括化推進会議を 1 回開催しました。また、法テラス島根、島根県弁護士会と連携したなんでも相談会を 1 回開催し、4 名の相談がありました。

④周知啓発

事業周知を図るため各種研修会等でのチラシの広報のほか、電子看板(デジタルサイネージ)を活用した「福祉なんでも相談」の周知を行いました。

- ・イオン松江 3 階フードコート 3 画面分 (期間：H31.4.1～H31.4.30)

10-(3) 松江市小規模法人のネットワーク化による協働推進事業

【総務課】

小規模作業所が集まり、共通の課題解決のために活動する NPO 法人福祉ネットだんだんネ(松江小規模作業所連絡会)とともに地域の関係づくりの方法や地域貢献のあり方について検討し、企業に取り組みました。

①共生社会講演会・障がいサービス事業所実践報告会

障がいがあっても地域で働き、生活していく、そして子どもやお年寄りとも交流していく、そうした共生社会を進めるため、障がい福祉サービス事業所が好事例の実践を発表し、学ぶ場を作る実践報告会を開催しました。

また併せて、先駆的な実践を創り続けている社会福祉法人より、広く地域福祉・障がい福祉関心のある方を対象に「ありたい社会づくり」についてともに考える機会となる講演会を行いました。

◆実施内容

事業名等	内 容
共生社会講演会・ 事業所実践報告会	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 令和元年 9 月 28 日（土） 会場 松江市総合福祉センター 4 階大ホール 講演 「障がいのある人もない人も共に住みよいまちづくりに ついて」 社会福祉法人ゆうゆう 理事長 大原 裕介 氏 実績報告 「つなげる輪つながる輪」

②事業所ガイドブック等の作成

福祉ネットだんだんネが中心となり、就労支援サービスを利用するための制度情報や、事業所の概要をまとめた冊子を発行しました。また放課後等デイサービスの情報を一冊にまとめ市内の幼稚園・保育園をはじめ各学校を通して特別な支援を必要とする児童・生徒へ配布を行いました。

松江市社会福祉協議会 職員数

令和2年3月31日

所属		正規職員 専務含む	継続雇用 職員	嘱託 職員	臨時 職員	パート 職員	計
専務理事		1					1
常務理事			1				1
事務局長		1					1
総務課	課長	1					1
	総務係	4		2		4	10
	経営企画係	2		2			4
	松北事業所(松江社協介護センター)	1		6		7	14
	松東事業所(美保関介護センター)駐在含	4		8	9	8	29
	松南事業所(松南介護センター)			6		7	13
	湖南事業所(宍道介護センター)			6	1	13	20
	八雲児童センター			2		4	6
	介護認定調査	3		15		8	26
地域福祉課	課長	1					1
	地域福祉係	8					8
	ボランティアセンター	2		2			4
生活支援課	課長	1					1
	生活支援係	3		1			4
	総合相談調整室	4		11			15
地域包括ケ ア推進課	課長	1					1
	地域包括ケア推進係	1		1			2
	地域包括支援センター	26		26			52
	在宅医療・介護連携支援センター	2		1			3
東出雲支所				1	1		2
計		66	1	90	11	51	219

※正規職員数には市からの派遣職員を含む。